

- 1…旅夜書懷 鎌田修一
- 2…大阪白水会 決算報告
- 3…ご挨拶
- 4…母校便り
- 5…部活動の現状と課題
- 7…各科便り
- 10…54年度卒業生の進路
- 12…会だより
- 16…国際時代時代に活躍する白水会員
- 22…会員だより
- 24…53年度会費納入者一覧

# 白水会報

発行所  
 大阪市立泉尾工業高等学校内  
 大阪白水会  
 〒 551  
 大阪市大正区泉尾 5-16-7  
 TEL 大阪 552-2221代  
 振替 大阪 82966  
 発行人 鎌田修一  
 編集責任者 北川恒夫

## 旅夜書懷

会長 鎌田修一 (D13)



夏を迎えるたび、「我、祖国に在り」の感とともに

に、あの昭和十二年タナバタの夜と「八月十五日」を憶う。いうまでもなく一つは、宿縁の「日中」に活路を開かんとした、誤算の道への運命の日であり、一つは、四面楚歌に戈を投じた大東亜戦争敗北の日である。

開戦の真因とその功罪は後世の史家に俟つべくも、しかし年々歴史の証言者は姿を消し、歲月は風のように過ぎてゆく。そして戦後あれほど軍や軍人を誹謗した新聞や左翼平和主義者たちが、戦後の幻想にとりつかれた革命の大義に立ち往生の現実も、また冷峻な時の推移である。

思えば、戦後の日本は人権が栄え、平和国家、民主主義国家として再生した反面、戦後遺症と左翼の宣

伝に、国家とか、国のためという言葉に、ある種の拒否反応を抱いてきた。それは軍と名がつけば憎悪をたぎらせ、「反戦と平和」の美名のもとに、いちずに直線的思考を貫いてきた。

およそ国際、国内問題を問わず、戦後マスコミや左翼知識人たちがニュースパルニューやイデオロギーに偏った現象の一面だけを誇大報道して国民を惑わしてきたことは、中国報道、ベトナム報道にも明らかで、その立場を利用しての独善性には、日本の民主主義体制の危機を思わせるものがあった。

運まきながら昨今、中庸の賢人・智者たちが、革命神話の幻影を鳴らし、良識の灯をかかげた。沈黙より前進であり、すりかえの「狼少年」論より健全で、論理的でもある。が、いかんせん、無法のバン声が「世論を支配の時にこそ」の感も否めない。

思うに、機を見るに敏なる学者・文化人たちの言動には、君子ならざる豹変も

多い。真珠湾の勝報到り、シンガポール、バンドンの陥落が戦争の前途をバラ色に染めたとき、聖戦を賛美した、いまの進歩的文化人がいかに多いか、書き残した感動の文字がこれを雄弁にものがたっている。

戦後久しく、ジャワの知友、大宅壮一元宣伝班員と会った。窓外の雪は再会に風情を添え、南方への回想は「戦友別盃の歌」とび、尊敬する人物、論に及んだ。そしてあの無縫の毒舌から、「尊敬できる人は今村さん、馬淵さん。たまたま軍人ではあるが、その言を聞き、戦友健在を知った。

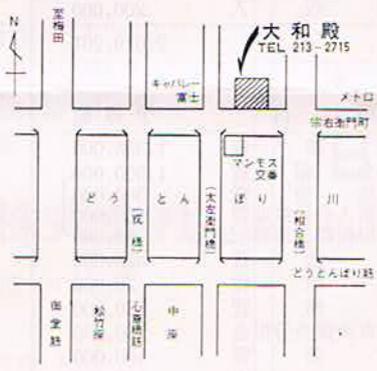
因みに、ジャワ職定のころ、バタビヤ・バンドン間を行き来する氏にクラウンのわが警備地は格好の旅泊で、回を重ねる傾盃の欲談は「隣鶏曉を報ず」までを常とし親交を深めた。「大東亜戦争は聖戦なり」と喝破し、「大日本帝国ジャワ州」とうそぶいた氏の言を、忘れることはできない。それは(印象にのこる)南方特有の白い夜であった。

さて、氏が賛える誇り高き日本人は、今村均元陸軍大将と馬淵逸雄元陸軍少将で、あるが両将の全容につ

### ◆ 総会のご案内

新入会員を歓迎し、クラス会を開いて旧交を温め、クラブOBが思い出を語り合い、大阪白水会を発展させよう。幹事さんよろしく。

日時 7月13日(金) 18時30分  
 会場 大和殿(電話二二三二七二五)



会費 三、五〇〇円 ただし53年、54年の卒業生は一、五〇〇円

議事時間を短縮しますので、会報の決算書、予算案をお目通し願います。

いては賢者に譲るとしても側面二三を摘記しないわけにはいかない。

「一身をもって全軍将兵に代わらん」と、とマス島へ再服役された今村大将の一事は世界周知で、その軍歴に比肩する武人の徳操はいまも旧連合国の教材として、次代へ脈うっている。

敬慕する島崎藤村の忠言を入れて東條陸相に進言し、藤村の筆にて仕上げたあの戦陣訓……。あるいは、今上、皇太子時代の訪英の時、並み居る外交官を退けての、榮譽の通訳「はおるか、殿下旅愁の滞英中をその坐臥に奉仕し、ギルトホルの晩さん会にはジョーシ五世をして「貴官健在のあいだ、英国は日英同盟を堅持する」、の確約と、文武両道の偉才、の賛辞を言わしめし（若き日の大使館武官）今村大尉——で、その逸話は雄大にして多彩である。

馬淵少将は、支那派遣並びに陸軍の報道部長時代、みづからの著作も多い。が、一伍長の書く前線日記「麦と兵隊」を統後へ送り、作家・火野葦平を世に出した将軍で、当時陸軍きっての文化軍人である。汪精衛の信望あつく、氏の南京脱出、青島会談などの際の演

出者でもある。支那事変一転機の際、漢口に勢ぞろいした久米正雄、菊池寛、吉川英治、吉屋信子、丹羽文雄等七指の大物文士たちが、「馬淵さんが陸軍の頭脳になる時こそ陸軍の夜明けだ。その時こそ」と誓い合った寄せ書きもある——が、無量の感である。

終戦時、第十六軍司令官代理（代行）としてその処置にあたった処置は、最高指揮官としての軍の終焉と武人の最期を全うした将帥の神髄で、重層的に一体化した終戦秘話とともにインドネシア独立史の圧巻である。将軍に心酔した英軍ローダー少将が日本軍司令官の指揮権を尊重して武装を解除せず、軍刀を所持のまま（日本軍の）処置を委ね、任を継いだ關軍司令官も、畏敬の念をもってこれを承継した。昨日の敵将・蔣介石が、将軍の生存を知るや恩讐を越えてスカルノに、身の安全と保護を懇請し、将軍にも「いま還れば中国側の戦犯として逮捕される危険性あり。しばらく、そのままジャワに居らるるよう」との書簡を送り、遺訓の温情をさしのべた。スカルノに「軍隊も閣下もそのままこの国に……」を要請された将軍……

「将兵に責任はない。自分がインドネシアの独立を見届けるまで人質として残り、日本及び日本軍指揮官としての責任を果たす。将兵は一日も早く、一人でも多く、祖国に還してほしい」と請い、スカルノを母国に育てられた義勇軍の、スハルト小団長が大統領で来日し、インドネシアの太陽と仰ぐ今村・馬淵両将軍に（スカルノと同様）「三顧の礼」で来駕を懇願したことは、遠い日の栄光をしのばせる美談である。将軍病臥と知るや、訪ねる旧軍一般は言わずもがな、文人墨客ひきもきらず、更めて、威張らなかつた軍人の、時代を越えての交わりをかいま見せた。持論は、「戦争は一時のこと、民族の交わりは永遠のこと、今日一日も歴史に恥じぬこと」であり、余韻をとくとぶ人生——は、将軍の終生訓でもあった。おもひみるに、大宅壮一斬る人物鑑定

の書は多く、他の論著も多数である。「叙述」の両将を推した論拠も、両将の理性と英知が万人の尊敬と信望を得て発揮せし、卓抜の指導力にあつたものである。にも拘らず、氏の舌鋒からは論壇をゆるがす雄略

「勝利には百人の父親が名乗り出るが、敗北は孤児である」と言つたジョン・ケネディーの言葉を思い出す。民族の歴史を色どつた二人の英将も、マスコミを睥睨（へいげい）した警世の

（おたけび）を聞くことはできなかつた。戦場の静寂（しじま）をよぎる虫の音は、征旅の将兵の心をうつ。あの、軍を責むるに急ぐ狂瀾のとき、既倒にめぐらす一人の真勇の旗手ありせば、一つの極端への傾斜にもならぬかのインパクトを与えたのであろうことはまちがいない。「勝利には百人の父親が名乗り出るが、敗北は孤児である」と言つたジョン・ケネディーの言葉を思い出す。

言論人も、いまや共に人々の視野から去つた。かずかずの、ドラマと歴史をのこして……。流れゆく日月の足の速さ——、生きてふたたび迎える祖国の夏——、人生の旅夜、憶うことはしきりである。

昭和53年度 大阪白水会決算書

Table with financial data for 1978 (昭和53年度) including income and expenses.

54年度 大阪白水会予算案

Table with financial data for 1979 (54年度) including income and expenses.

昭和53年度 大阪白水会決算書

Table with financial data for 1978 (昭和53年度) including income and expenses.

# ご挨拶

学校長 藤 倉 文 夫



このたび、前校長高橋正一先生の後任として、六十年に近い歴史と伝統に輝く大阪市立泉尾工業高等学校を命ぜられましたことは、まことに光栄に存じますとともに、その重責に身も心も引きしまる思いでございます。

本校には、すでに一万余名を越える卒業生の方々が、各界でめざましい活躍をされておられ、その皆様が白水会に結集されて母校のために暖かいご配慮をたまわっておられることは、まことにありがたいと力強いことと存じます。過日も白水会東京支部にお招きいただき、ご接待にあずかりました。が、東京でのご活躍ぶりを見せつけて大変うれしく存じております。

大校長として輝かしい業跡を残されました高橋先生のおあとをお受けするに、まことに非力ではござい

すが、さいわい本校には泉工に愛着と誇りをもって生徒の教育に精魂をそそいでいる先生が多くおります。

教育の荒廃が叫ばれるなかで、泉工を守り、さらに発展させるために奮闘してくださる先生方と力をあわせ、苦楽を分かちあいながら、よき後輩の育成のために、みずからも姿勢を正して精進してゆきたいと存じておりますので、白水会の皆様にはよろしくご指導とご支援をたまわりますようお願い申し上げます。

ひるがえって、今の私どもをとりまく情勢をみますと、不確実性とか激動の時代とかいわれて、とかく目先の計算や利害得失にとらわれがちで、物事の本質をしつくり考えるゆとりが乏しくなっているように思っています。

教育の世界でも、いわゆる受験教育といわれる状況がみられます。主要科目（受験科目）といわれるものの出来不出来によって、子どもの将来まで決められ、ひとりひとりが持つている個々の天分が無視され

## 54年度役員

- 会 長 鎌田修一氏(D13)
- 副会長 布谷伊光氏(S4)
- 山下文雄氏(D16)
- 長野蘭蔵氏(C4)
- 清水博司氏(A17)
- 西井正博氏(M18)
- 河端 保氏(E41)

## 53年度 事業報告

- 常任理事会(5/8・6/5・5/1/29)
- 役員会・理事会(5/12)
- 東京支部総会(5/27)
- 卒業生を囲む会(6/7)
- 会報発行(7/1)
- 総会(7/14)

〔積立金会計〕	
前年度繰越金	1,678,532
預金利息	94,566
積立金	350,000
計	2,123,098
→次年度へ繰越	

会計監査報告  
 昭和53年度大阪白水会会計を監査したところ使途は適正であり会計帳簿、預金通帳の記載は正確であったことを認めます。  
 会計監査 福原初男 関平岡利隆

るということが多くみられます。しかしながら、私どもの長い教員生活をふりかえってみても、ひとりひとりの生徒たちの長所を見つけて出し、それを育ててやり、またみずから育てられるように激励・援助してやること、その生徒たちの将来を本当に切りひらくことになるということを感じます。

このことは、いま社会人として活躍している多くの教え子の姿を在学当時まで逆にたどってみると明らかになるのではないかと思います。そういう意味から人間を知的な側面だけ、ましてや受験中心の知識で評価することは、その子どものもつ天分をしばしば埋もれさせることになると思えます。昔からいわれる知・徳・体にくわえて手をはたらかすこと(技)を含めた人間としての全体的能力の見地から、その生徒の長所

を見出し、育てなければならぬと思えます。この見地に立てば、本校のような工業高校では、昔から知・徳・体・技の四者を結合した教育が行なわれております。受験教育の中で生じた高校教育のひずみをもろに受けている工業高校が、実は本質的なところ

で日本の高校教育のひずみをすくなくするはたらきをしてきたということになり

ます。その意味で、工業高校の役割を見直すとともに、自信をもってよりよい教育内容の改善にとり組んでゆくことが大切であると思えます。

泉工もやがて創立六十周年を迎えようとしております。歴代校長はじめ教職員

のほどお願い申し上げます。終りにのぞみ白水会

の努力により、また白水会PTA・後援会のお力添えにより、泉工の施設・設備もかなり充実してきまし

# ご挨拶

教頭 吉 倉 久 雄



この度の異動により、四月五日稲田春政教頭の後任として赴任してまいりまし

た。輝かしい伝統のある泉尾工業高等学校の一員になったことを、特に、誇りに思っております。

私は昭和二十一年に大阪市立西島工業学校に初めて勤めましたが、二ヶ月余り

機械科、電気科も一年で合併ということになり都島工業に転任いたしました。昭和三十四年十一月、新設校建設に参加し、翌三十五年東淀工業高等学校に転任致しました。東淀工業高等学校では、既設の各工業高校に負けないような新しい伝統をつくらうと努力してまいりました。この三十余年の教員生活で伝統というものがいつにかかわってきた(次頁下段に続く)

職員移動

◇お送りした職員

◎高橋正一校長

かつて四年間、本校教頭として在籍され、再び四十八年から校長として返り咲かれ、合わせて十一年間。校舎の増改築など山積する問題を抱えて、真摯な努力を重ねてこられました。



特に工業関係の研究のいっくつかの会長を歴任され、精力的に活躍されましたが、本年四月、南高校の校長として、初めてのご経験ながら普通科教育に才腕を奮われることになりました。一層のご健闘を期待しております。

◎稲田春政教頭

五十一年四月、都工から教頭としてお迎えして三年。ご本人にとっても意外に短かい在職でありましたが、これまた普通科の汎愛高校の教頭として、新しい経験をされることになりました。馴れない職場であっても、持ち前の人当りの良さを発揮して、ご活躍のご様子と聞いております。

◎田中誠孝先生 (M科)

昭和二十六年に本校に奉職されてより二十八年間。温厚で真面目なお人柄そのままに、人生の大半を機械科職員として、教育指導に尽瘁されました。此度六十才からの第二の人生を自指して、ご勇退になりました。ご多幸を祈ります。

◎生駒脩先生 (E科)

昭和三十三年本校紡織科を卒業され、四十二年に母校電気科に奉職されてより十一年間。硬式テニス部顧問としてご活躍されましたが、最近体調を崩され、泉尾二工に転じて、復調をはかれることになりました。旧倍の回復を祈っております。

◎内部俊和先生 (理科)

物理を担当して一年間の在職でありましたが、今度初志を貫かれて、次木市立春日小学校に勤務されることになりました。

◎薄上憲一先生 (国語)

生徒にとっては兄貴のような若々しい先生で、一年間お世話になりましたが、今春より此花区春日出中学校に転新されました。

◎仲谷義夫氏 (管理作業員)

◎豊崎中に転勤

◇お迎えした職員

◎藤倉文夫校長

都工に三十余年在籍され、今度、本校校長としてお迎えすることになりました。穏やかで誠実なお人柄に期待しております。

◎吉舎久雄教頭

都工に十三年、東淀工高創設に参画されてより十九年。今春からは本校教頭として勤務されることになりました。古くから軟硬界では知名のスポーツマンでもあります。

◎河合禎登先生 (E科)

生駒先生と交替して、泉尾二工から昼の生活に転じられた、気鋭のベテランです。

◎浪花寛先生 (国語)

市内大淀中より国語科の担当として迎えました。生活指導課に籍を置いて、豊富な経験を發揮されることを期待しております。

◎西平守広先生 (M科)

生野工高から転勤して来られました。新婚はやはや元氣な先生です。

◎猪尾宏明先生 (理科)

今春、大阪教育大を卒業、物理担当として迎えました。柔道三段の腕前で、早速柔道部顧問として、また生活指導課員として活躍されましたが、急に病いを得て現在入院中です。一日も早く元氣な姿で復帰されることを念じています。

その他

◎中島武郎先生 (E科)

急性肝炎で三月末より入院中。間もなく退院される予定。

◎馬越洋一先生 (数学)

急性肝炎のため二月末より入院療養中。

◎浜中富三先生 (A科)

健康上の理由で、中尾貞昭先生と科長を交替し、目下体調の回復をはかりつつ勤務されている。

など、一部故障はあるものの、他は大過なく、三六〇名の新入生、新しい先生方を迎えて、大いに張り切っています。

学校行事

いろいろな行事がある中で、少し違って来た行事を紹介いたします。

◇スキー研修旅行

五十三年度より、従来の修学旅行のあり方を改めて、北志賀高原、竜王スキー場で、二年生二五八名が参加して、二月六日から十日まで四泊五日の日程で、スキー研修を行なった。従来の修学旅行については、実施上の困難点が多い

(前頁より続く)

ように思っておりますが、伝統という偉大なものの価値を充分知らしめられたように思います。

今、二ヶ月余りの泉尾工高での生活ですが、一日一日皆様が永年かかつて築き上げられた立派な伝統を肌で感じており、この伝統

割に、その成果に疑問があり、二年前から検討を重ねてきた結果、二月初旬にスキー研修の形で実施することになりました。

初めての試みではあったが、熱心に練習を重ね、最終日にはいずれもあざやかなスキーさばきを見せ、去り難い思いをゲレンデのシュプールに残して、無事行事を終った。

その他、もちつきのお初経験に歓声をあげたり、有意義な行事として、今後は定着することになりそうである。

◇学校祭 (体育・文化祭)

十月一日から始まる就職試験の影響を避けて、十一月一日(木)に体育祭、二週後の十八日(日)に文化祭を実施することになった。体育祭は校内で、やや小規模ながら従来の伝統を継いで行こうと計画を練っ

を大切にし、更に発展するように努力しなければならぬと責任の重さを感じております。

白水会の皆様、お気づきの点をどしどしご指摘下さいまして、泉尾工業高等学校校発展のためにご助力下さいますようお願い申し上げます。

ている。

文化祭は、最近文化部の活動が低調で、部員も減少している中で、クラス参加を呼びかけてきたが、今年には更にすすめて、全クラス全員参加を目指している。

◇クラブリーダー研修会

例年三回の研修会をもって、部活動の自主的な活動を促がす役割を果たして来たが、今年には宿泊研修を取り入れて、リーダーが体験的に実践する活力を注入することになった。



# 部活動の現状と課題



毎年このながら、体格は立派であっても体力的には「落ちこぼれ、伸びなやみ」の現象がみられる生徒達「不規則な生活・睡眠不足、ストレス」など「自分の健康は自分で守る」という意識が低く他人まかせの感を免れない。多様化してい

る生徒を部活動を通してならんかの生活指導の歯止めとなるために部活動を奨励し努力をしている。母校は相変らず活動場所は狭いが、その狭い場所で、自己のもつ能力や可能性を求め部活動している姿は頼もしさを感じる。生徒で失わ

れている生活の「けじめ」は部活動を通して最初に「規則正しく、けじめのある生活は部活動の基本原則である」ことを自覚させる場でもある。部活動によって生徒達は高校生として、青年期としての多くの体験をしていく大切な年代でもあることを教えているが、しかし新入部員の保護者から「部活動のため帰宅が遅く、夕食後は疲れを訴え、ほとんど学習に手を出さない」という声を耳にします。

別表は本年度5月現在の部活動の加入状況であるがここ2・3年加入状況にはあまり変化はない。特に文化活動面は低調で、すでに2部が同好会に格下げになり淋しい感を感じています。また毎年夏期休暇を過ぎから部員の退部者が見られる。部活動を去るこれらの生徒の中には、体力や技術面ではなく、精神力の欠如が原因となっていることが多い。オリンピックの監督であったM氏の話によれば「現代っ子は、カッカイイ、ことを望むが、カッコイイ姿の舞台裏には、体力や技術をつけるための、血の滲むような苦しい鍛錬と、厳しい節制の連続の結果であることを知らない」といい、さらに「基本に忠実であってはいじめ、カッコイイ、プレーができる」と表現している。まさにそのとおりだと思います。最近の家庭での躾をみても、環境の浄化の必要をさげ、個人に対して、①善悪のけじめをつける（人に迷惑をかけない）②がまんする（心のコントロールをはかる）の必要が欠けているように思われます。

昭和54年度 部・同好会加入状況 (5月12日調べ)

部	1学年		2学年		3学年		計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	
文部	14	2	35	16	20	14	69	32	101
同好会	2	0	6	10	0	0	8	10	18
計	16	2	41	26	20	14	77	42	119
体育	18		67		34		77		42
部	107	22	75	16	38	21	230	59	279
同好会	1	0	8	0	0	0	9	0	9
計	108	22	83	16	38	21	239	59	288
計	130		99		59		239		59
部	121	24	110	32	58	35	289	91	380
同好会	3	0	14	10	0	0	17	10	27
計	124	24	124	42	58	35	306	101	407
計	148		166		93		306		101
加入率	40.9%		51.2%		34.2%		39.8%		53.2%
在籍	362		324		272		768		190
(5月1日)									958

退部後の生活指導で苦労している。苦しみや楽しみの交錯した部活動を経験したメンバーから、耐え抜く根性と、わきまをもち部員となる

このような部活動を継続させるためには、先輩達の積極的な尽力を望みたい。(生活指導課長 前田昌男)

近年本校の部活動の良い成果をご報告出来ない事を残念に思っています。然しながら今年の一年生に希望を持って居ります。それはここ数年各々各部への入部者は多いのですが、退部する者が多く部員不足に悩んでいました。今年硬式野球部では三十名の新入部員が居り、硬式庭球部では十五名の新入部員

入居ります。その他の部でも多くの新入部員が練習にはげんでいます。然し全般的に二三年生の部員が少なくなっています。然しながら放課後ともなると狭いグラウンド、不備な体育館で割り当て時間を待ちかねて各部とも熱心にとり組んでいます。又夏の合宿練習、強化練習の計画も為されて居りますので、先輩諸兄弟の一層のご指導の程切に希望致します。(体育部長 矢野賢二)

## 運動クラブ 便り

硬式野球部  
53年度市立大会優勝  
54年度春季大会  
4回戦対市岡高校に惜敗を喫す

昨年夏の選手権大会大阪大会で、福島商高に延長の末7：9で敗れ涙をのみ、其の後新チームを結成し、夏季休暇中は府立山本高校グラウンドにて合同練習を行いました。秋の大会に備えましたが2回戦で興国高校に0：7で敗れはいたしましたが、名門校との差が出たものと思われまます。

秋季市立総合大会では、決勝戦で都島工業に7：4で勝ち、通算3回目の優勝を果すことが出来ました。今年の春季大会では、4回戦で市岡高校と対戦し、2点をリードされましたが4回4：2と逆転に成功しましたが、すぐ同点から再逆転され結局4：6で惜敗を喫しました。

硬式野球部  
OB諸兄へご連絡  
昨年は経済面等でご援助ご協力を賜り部員一同心より感謝いたして居ります。今後共よろしくお願ひ申し上げます。

現在の實力  
投手面では、天水(3年生)が最近一段と実力を付け、精神的にも充実し、余裕ある投球出来るまでに成長して来ました。

高OB名簿を整理します  
ので、ご面倒ですが卒業年度、科名、現住所氏名を願ひ山本秀数までご連絡下さいませようお願ひします。又同期の方で白水会名簿の住所が変更又は空白になっていますので存知の方もご連絡いただけば訂正いたしますのでご協力をお願い申し上げます。

打撃面では、富山(主将3年生)が本塁打9号、3塁打4、2塁打17、打率4

高OB名簿を整理します  
ので、ご面倒ですが卒業年度、科名、現住所氏名を願ひ山本秀数までご連絡下さいませようお願ひします。又同期の方で白水会名簿の住所が変更又は空白になっていますので存知の方もご連絡いただけば訂正いたしますのでご協力をお願い申し上げます。

割2分(新チーム結成後)と長距離バッターとして充実しております。

天水は打撃面でも良く、本塁打1号、打率3割6分、矢野(三年生)が3塁打4、2塁打8、打率3割6分でチーム打率3割2分と打撃のチームを目標に指導して来たのが実りつつあると思っております。問題は守備面で、特に外野守備が現在の校庭では練習出来ず、内野の連係プレーが不十分なのが心配です。

その後7月11日(水)から7月14日まで、八尾の久宝寺球場及山本球場を借りる予定です。ここで充分守備練習を重点的に実施したいと考えています。

来る7月の夏の選手権大会大阪大会では天水投手が実力どおりの投球が試合に出れば、決勝戦出場も夢ではないと確信して居ります。抽選でどの様な強敵と対戦するとも部員一同一丸となって試合に臨む覚悟です。先輩諸兄姉のご声援を切望いたします。



第60回全国高等学校野球選手権記念大阪大会 1978.3.27

昭和53年度54年度の試合成績表は次の通りです。(顧問 山本秀敏)

昭和53年度試合成績表

- 公式試合
- 4/9 春季工業大会1回戦
- ◎対電通高校15:7
- 4/16 春季大阪大会2回戦
- ◎対扇町商業11:0
- 4/23 春季工業大会2回戦
- ×対成城工業1:9
- 4/29 春季大阪大会3回戦
- ×対西商業高6:13
- 7/17 選手権大阪2回戦
- ×対福島商業7:9
- 9/3 市立総合大会1回戦
- ◎対東商業高7:0
- 9/10 秋季工業大会1回戦
- ×対成城工業1:2
- 9/15 近畿大阪大会1回戦
- ◎対渋谷高校3:2
- 9/17 市立総合大会2回戦
- ◎対市立高校8:3
- 9/23 近畿大阪大会2回戦
- ×対興国高校0:7

9/30 市立総合大会準決勝  
△対桜宮高校3:3  
10/5 同 再試合  
◎対同 5:4  
10/8 市立総合大会決勝戦  
◎対都島工業7:4  
対戦成績7勝5敗1引分け  
練習試合4勝3敗1引分け  
昭和54年度試合成績  
練習試合×対淀商高3:5  
◎対工業高17:0  
◎対池田高8:2  
春季大会

2 国戦◎対西商高11:1  
3 回戦◎対桜宮高4:1  
4 回戦×対市岡高4:6  
軟式野球部近況!!  
昨年の市立大会4年連続優勝を生野工にはばまれ、再度優勝をと部員は毎日練習にはげんでいます。春の近畿大会府予選は井藤寺工には窪口の3ランを含む10安打で7:2で大勝利、準々決勝、対北陽は7回に四球とエラーで一点を取られ、東投手の好投を無にし惜敗した。今年は三年生が8人も居り、チームワークもよく夏の大会には優勝も可能と思われ、例年通り福山で七月十二日より七月十六日午後七時帰阪の予定で行きますので、OBの方合宿練習の指導下さるようお願い申し上げます。

(顧問 伊藤利也)

ほんものの味

文化部長 高川正嗣

もう十年以上も前のことだが、そのころは部活動がとてまさかんな時代であった。

どの部も少くとも五人や十人ぐらいの部員が居て、放課後や休みともなると、もり沢山の活動に取り組んでいた。

私の部も虫取りや植物採集によく出かけたもので、シーズンには茸採りに行ったことを覚えている。

時には食用茸が採れすぎて、残りを晩の肴にした思い出もある。

四十年代に入ってからも放課後は、腹持えをすませて遅くまで相談のことにあった。

その頃部員達とよく食べた即席焼に、松茸うどんというマークのものがある。袋にさも美味そうな松茸の絵が画いてあり、インスタントとはいってもののかよくも入っていたので味はいいが、残念なことに松茸型の小さな駄が入っているだけ、どこをさがしても松茸のかけらささえ入っていない。

でも、たしかに香りだけはしたようだった。松茸はおろか、ほかの食用

茸が近郊の山野から姿を消すと、尚更欲しくなる。天然の食用茸が見かけなくなつたころ、それまで盛んであった本校の文化部が下降線をたどりはじめ、次第に低調になって来たのは、妙な鉄合せである。

しかし部活動の大切なことは以前とは変りはない。現在小中学校では全生徒の必須活動として、大きくとりあげられているし、本校の文化祭も、昨年度より、全校参加の催に改められ盛大になって来ている。

毎年のことながら、文化祭が訪れるとルネッサンスにでも臨む気持で会場を見て回る。

だが率直なところ、全体としての私の評価は低く、新鮮で充実したものは以前より少なくなつてきています。

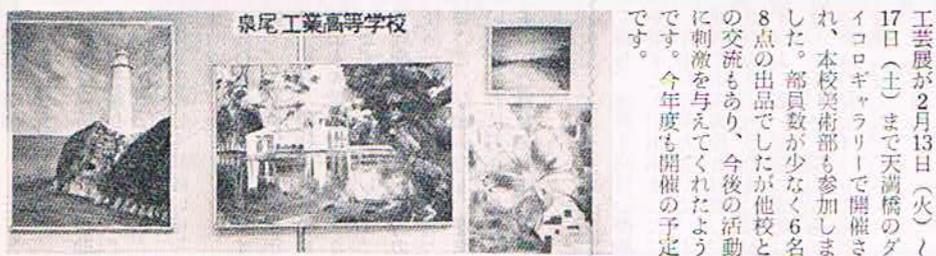
先程の松茸うどんのようにかやくは入っているが、本物の松茸が入っていないものや、香さえ漂わなないものが増えていく。

参観者の中にはよくお誉めの言葉も下さるが、それはお世辞のように思われる。全般的に見て、何が物足りない気がする。生徒諸君が文化祭の意義に目覚め、日頃の課外活動に意欲を燃やしてこそ、実り多い成果がもたらされる。何に

よらず、その看板やレッテルに相応しい、ほんものの味を持たせなければならぬ。

美術部

大阪市立高等学校美術・工芸展が2月13日(火)17日(土)まで天満橋のダイコロギャラリーで開催され、本校美術部も参加しました。部員数が少なく6名8点の出品でしたが他校との交流もあり、今後の活動に刺激を与えてくれたようです。今年度も開催の予定です。



泉尾工業高等学校

### J、R、C、部

(青少年赤十字団)

部創立以来はや十八年になろうとしております。創部当時、部員も多く奉仕を中心とした多様な活動を通じて人間の涵養に務めていきましたが、最近はその活動内容も限定されたものになっております。

本年三月、四名の部員を送り出してからは新入部員の獲得もかなわず、二年生

部員二名のみとなり今後の活動も危ぶまれる状況です。

それでも伝統の奉仕活動は続けられ、いわき学園訪問、大正区身体障害者体育大会参加、募金運動、機関紙発行、バザー、点字など少い部員ながら精一杯頑張っております。

今後は一年生部員の獲得に全力をあげ、諸先輩の期待にこたえたいと考えております。

### 繊維工業科だより

昭和39年から女子が入学し、以後増え続けてクラスの大半を占めた繊維工業科に、本年は男子の志願者が増加、その内18名が入学した。来年度も増加の傾向にある。

て順応しやすうに改訂される運びになっている。

専門科目名も、繊維・織維製品、織維製品製造に大別され、内容も、織維高分子化学、織維製品、織物製造、編組・縫製、紡績・撚糸・工場管理、染色加工に集録される予定である。

大阪市の特殊な学科として創設され、卒業生が希望に燃えて業界に雄飛し、大きな功績を残した過去を振り返りかえるとき、職業高校への進学意識の低下、産学協同の噛み合わせの乱れは、教育にたずさわる者として何か一沫のわびしきにか

織維業界が労働集約産業から付加価値の高い知識集約産業へ転換しつつあるとき、教育課程も「繊維系」学科として昭和57年から、繊維についての幅広い知識技術をもった総合技術者の養成を目標として、新しく工業共通実習、工業数理の科目を加えて、専門分野からはすべて工業人とし

れてならない。

特殊な学科への業界の関心の復帰と後輩を育てる姿の再認識を望むとともに、教育にたずさわる者として、業界から受け入れてもらえ

### 色染工業科だより

新しい実習場に移って一年経ちました。以前の雨もりがし、かびと薬品の臭いがたまたま実習場とは比較にならない程、明るく、清潔で、気持ちよく実習が出来るようになりました。

是非、皆さんおさそいあわせの上、新しい実習場の見学にお越し下さい。

この新しい実習場へ、今年男子8名、女子32名の新一年生を迎えました。あ

宮代先生は、50年に本校色染工業科卒業、森六商事に勤務されておりました。着任以来八ヶ月、生徒にしたわれ、明るく活発に生徒指導にあたっております。



宮代典子先生談

いかわらずの女性上位ではあります。最近若手男子の受験が増える傾向にあります。

ところで、48年4月以来色染工業科の実習担当として、生徒の指導にあたってこれ来ました守口隆先生には、一身上の都合で昨年8月退職されました。後任として、昨年11月1日より、宮代典子先生が勤務されて

る人間の育成に努力をかけたむける必要を痛感する。

辻村、米田、市原、川島里崎、増成、水谷(進路指導課へ出向) 木原、一同元気で頑張っております。

○ 6月4日から3週間、先生の卵の教育実習が行なわれておりますが、この教生4名のうちの1名に色染工業科51年卒の岡田裕子君がおります。武庫川女子大

### 窯業科だより

卒業生のみなさんお元気ですか。

C科の現状は相変わらず老朽化した狭い所で頑張っております。校舎改築についてはM・S・D科の後、C・A科の実現を市当局に陳情して居りますが、市の教育行政上からなかなか軌道に乗らず、一口も早く着手され、整備されんことを職員生徒一同首を長くして願っている次第です。

職員の移動はありませんが、石井先生が、本年四月より九月末まで、情報処理技術の研修のため富士通株式会社に出向され、現在は学校に勤務されて居りますが、十月からは新しい知識を持ち帰られ、生徒指

学4回生で体育を専攻しており、主として色染工業科の生徒を対象に実習にはげんでおります。

○ 新しく次の機器類が購入され、実習に使用されております。上下式染色機、顕微鏡、万能投影機。

その他の機器類も含めて、卒業生各位の積極的な御利用を、おまちしております。

本年四月入学生は、女子生徒の入学がなく、昨年について全員男子生徒です。担任は前川先生、副担任は酒井先生(数学科)、共に頑張って指導に当たっております。

毎年、卒業生諸氏の御協力をいただき行なわれております。在校生のための卒業生を囲む会は六月六日に、別掲の三氏に来ていただいて、いろいろ有益な話を聞かせていただきました。紙上をかりて厚くお礼申し上げます。今後も在校生のため、先輩諸氏の御協力をお願い致しますが、その節はよろしく。

### 工業化学科だより

卒業生の皆さん元気に活躍のことと思います。本年も工化だよりをお送り致します。転勤された先生はありますが、佐々木先生の後、科長をしておられました浜中先生が、健康を害され、四月から中尾先生と交替されました。

浜中先生は現在大阪市大病院で検査中で六月中には結果がわかると思います。なお勤務は、病院に行かれる水曜日以外は、平常通り出勤しております。なお新しく科長になられた中尾先生は三十六年より本校に勤めておられ、本科の為に頑張っていたのであります。どうかよろしく御指導下さいませ。

先輩諸氏も機会がありましたら市会議員やその他知り合いの有力者に働きかけてほしいと思っております。最後に本年も62名が卒業し先輩諸氏のもとで、お世話になっておられると思いますが、どうかよろしく御指導御鞭撻下さいませようお願ひ申し上げます。

部に入學しました。最近にないヒットです。次に工業化学科の実習場新築の件ですが、なかなか実現しそやうに弱っております。先日雨も降って三階の定性分析実習室は水びたしで、板を渡して、水を掻き出したの経験でした。一日でも早くと思ひ関係方面にも働きかけてはいます。が金のいることなので市の方も心よい返事はくれません。先輩諸氏も機会がありましたら市会議員やその他知り合いの有力者に働きかけてほしいと思っております。最後に本年も62名が卒業し先輩諸氏のもとで、お世話になっておられると思いますが、どうかよろしく御指導御鞭撻下さいませようお願ひ申し上げます。

### 化学機械科だより

○当科では、かねてより昨今の社会の状況や、生徒の素養の多様化と、機械の技術の基本を確実に指導す

るために、化学機械科の名称を機械科に改めて、昭和54年度の入学より、充実改善した教育内容により

域社会の要求に応じたいと職員一同、研究、努力致しております。

○本年勤続の田中誠孝先生には去る3月31日をもって本校を御退されましが、先生には昭和26年に本校に御就任、当科において、戦後の荒廃した時期から現在に至るまで生徒の指導、施設の充実と大きな推進力としてその功績は大なるものがあります。御退職後も、いつまでも御元氣で、御活躍されることを、お祈りいたします。

○本年3月の卒業生の就職状況については、不況下の悪条件にもかかわらず卒業生諸兄の御支援のもと、全員それぞれの進路を見出し果立つ事が出来ました。今年も引き続き就職に困難な状況にありますが在校生の努力も当然であります。先輩諸兄の御支援をお願い致します。

○六月六日には恒例の卒業生を囲む会を先輩諸兄六名の出席を得て在校生に今後の進路を決定するの非常に有益な経験談をお聞かせ頂き有意義に過ぎませんでした。今後とも宜しく御指導をお願い致します。

### 電気科だより

卒業生のみなさん、お元氣ですか。電気科には昨年は3Eの亀川君、1Eの梅沢君と続けて若い生命を失い悲しい一年でした。が今春十四期生六十五名を送り新たに十七期生八十名を迎え新しい気持ちで頑張っております。

先ず職員の移動をお伝えします。生駒脩先生がこの四月一日付で泉尾第二工高へ転勤なさいました。先生は昭和四十三年四月から今

ます。スポーツは万能、特に卓球、水泳を得意とする。と伺っております。よろしくお願ひ致します。

次に職員の方近況をお知らせ致します。中島先生がこの三月末日から急性肝炎のため奈良県立医大病院に入院加療されております。経過は順調で回復に向っております。一日も早い全快を祈り元氣に登校される日をお待ちしております。

川上先生に第三子御誕生、名前を淳平君といいますが、前々から子供は三人とおっしゃっていました。このところずうっと先生の顔

### 植樹完成

新聞その他の報道で御存知の方も多し事と存じますが、昨年の夏、合宿中不慮の遭難で一命を失った電気科3年亀川利光君の、下級生を救おうとした行為を記し、又若者の命の安全を念じて、在校生、PTA、職員のカンパと亀川君の御両親からの寄贈でもって、電気科入口左側に、表面に「若者の生命の安全を祈りて」



「若者の生命の安全を祈りて」

# 二 挨拶

前教頭 稲田 春 政



会員の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

私こと此度の移動により、大阪市立汎愛高等学校に転動になりました。泉尾工業高等学校の三年間は本

当にお世話になりました。

伝統という言葉の重みをこれほどまでに感じた事はありませんでした。その伝統は泉尾の土壌に育まれた泉尾工業の立派な顔でなかつたかと思えます。

昨今は青少年の荒れた時代といわれています。学校では、学問よりも生活指導に迫られることも多くあります。この様な中で、先生方は、必死で生徒指導に当

って居られます。泉尾工業は会員でもある先生が多数居られるのも他校にその例を見ません。先生方が一貫とあって頑張って居られることが泉尾工業を大きく支えています。今後も安定して行くことでしょうか。

高橋校長のもとで、この三年間の思い出は色染工業科の改革、電子計算機室の新設をはじめ、環境整備を努力目標に仕事をさせてもらいましたが、残ったことは残念でなりません。多くの教訓も得ました。特に、若者の命の尊厳などに、終生忘れることのできる思い出があります。

藤倉校長と吉舎教頭は共に泉尾工業を立派に発展させられる方です。会員の皆様には、ご支援をいただき、ますますよろしくお願い申し上げます。

末尾ながら、会員の皆様のお祈り申し上げます。

藤倉校長と吉舎教頭は共に泉尾工業を立派に発展させられる方です。会員の皆様には、ご支援をいただき、ますますよろしくお願い申し上げます。

藤倉校長と吉舎教頭は共に泉尾工業を立派に発展させられる方です。会員の皆様には、ご支援をいただき、ますますよろしくお願い申し上げます。

# 泉工教育の思い出

機械科 田中 誠 孝



機械科ジェーン台風の被害の跡が残り、かなり老朽化したかと思われる校舎、うす暗く天井に雨模様がついた職員室、スクラップに近い状態の機械設備をもつ実習工場や実験室、これが昭和二十六年五月私が着任

したときの状態でした。一方使用した教科書といえは薄いもので紙質はわら半紙でその内容も現在の数分の一に近いものでしたから学年末以前には全部終了して何か補充したり他の授業に振りかえたりしました。また当時は七時間授業が週二回あり最後の授業などは、さすが元気な生徒諸君も脳の働らきにブレーキがかか

たものでしょうか誠に気の毒でした。この七時間授業は

ないものであります。これで泉尾工業高等学校を去る事になりましたが、私は泉尾工業の卒業生で、いつまでも泉尾工業とともにありたいと思っております。至らない私でございますが、ご支援いただき、ありがとうございました。

藤倉校長と吉舎教頭は共に泉尾工業を立派に発展させられる方です。会員の皆様には、ご支援をいただき、ますますよろしくお願い申し上げます。

藤倉校長と吉舎教頭は共に泉尾工業を立派に発展させられる方です。会員の皆様には、ご支援をいただき、ますますよろしくお願い申し上げます。

に合いませんでした。

(係)

## お詫び

前校長高橋先生のご挨拶を掲載予定しておりましたが、印刷に間に合いませんでした。

(係)

この植込みを見るだけでも、二度とあのような悲しい事のないように、又これからは泉尾に入学生、卒業して行くであろう多くの若者の生命の安全を念じて大切に育ててゆきたいと思っております。

(E科 細野浩一)

また白水会の皆様には公私共に御世話になりましたことを心から御礼申し上げます。今後とも益々白水会が盛大になりますよう念願致しております。

(付記)田中先生のご自宅は左記の通りです。〒570 豊中市上野西四一十三 二二六

先輩の話に耳を傾ける

「卒業生を囲む座談会」開催

今年も、進路指導課の主催で、「卒業生を囲む座談会」が、6月6日午後開催されました。

左記の各氏には、公務多忙中にもかかわらず、母校へ足をほんでいたいただきありがとうございました。誠にありがとうございました。

いまだ就職・進学ということについてはあまりピンときていない生徒達に、今回のお話はきっとよい刺激になった事かと存じます。この機会に、社会の厳しさや進路選択の重要さが痛感されたものと思います。

- ◇繊維工業科
  - 15 高橋誠一郎氏 (東洋商事)
  - 35 永田 元宏氏 (東和織物)
  - 51 西村 幸子氏 (帝人繊維加工研究所)
  - 51 阪上小富美氏 (日本紡績検査協会)
  - 51 野崎美智子氏 (日本紡績検査協会)
  - 51 谷水 淳子氏 (日本化学繊維検査協会)
  - 51 浦岡 律子氏 (日本化学繊維検査協会)

- ◇色染工業科
  - 16 栗原 康郎氏 (株三笠染工場)
  - 29 岸岡 皓氏 (ICIジャパン)
  - 49 久本美恵子氏 (敷島紡績)
  - 52 門田 秀子氏 (敷物検査協会)
  - 53 宇佐見信恵氏 (三菱化成)
  - 51 夏目 淳子氏 (松下電池工業)
  - ◇窯業科
    - 34 堀 信夫氏 (セントラル硝子)
    - 44 草場 信行氏 (旭硝子建材エンジニアリング)
    - 44 西竹 幹夫氏 (日本無機繊維工業)
    - ◇工業化学科
      - 28 田村 隆司氏 (住友化学工業)
      - 41 有上 正博氏 (田崎真珠)
      - 50 寺田 敏郎氏 (大阪合成有機化学研究所)
      - 54 徳井 義久氏 (兼松石油ガス)
      - 54 竹尾 好義氏 (ユニチカケミカル)

- ◇化学機械科
  - 42 野上 通樹氏 (富士車輛)
  - 45 澤 昭二氏 (シャープ)
  - 47 鈴木 康雄氏 (富士ゼロックス)
  - 49 清見 栄治氏 (西淀川区役所)
  - 51 清瀬 忍氏 (間機設工業)
  - 53 水本 和也氏 (赤松商事)
  - ◆電気科
    - 51 高田 健二氏 (大阪府水道部)
    - 51 大宝 清志氏 (日本電信電話公社)
    - 51 中尾 由秀氏 (日本国有鉄道)
    - 51 神原 弘氏 (摂南大学)
    - 51 三木 宏志氏 (摂南大学)
    - 52 山本 秀樹氏 (日立製作所)
    - 52 魚田 宏之氏 (関電版急商事)
    - 53 早川 広志氏 (東光精機)
    - 53 磯西 三天氏 (関西電力)
    - 53 平田 茂幸氏 (松下電器産業)
    - 54 米倉 建次氏 (近畿日本鉄道)
    - 54 安東 一氏 (大阪市交通局)

「二百六十八名

社会に巣立つ」

卒業生の皆様、お元気で御活躍の事と存じます。さて、今春も下記のように二百六十八名の生徒が、本校を巣立って行きました。傾向としては昨年とはとんと変わりありません。大企業が求人を手控える傾向にあって、競争がはげしく、筆記試験で多数不合格者が出たのが残念です。十一年位前と比較すると、生徒の就職先も随分変わったなあ、と思う次第です。

就職者	155	男
大学学部	8	48
短期大学	1	1
専修学校	3	3
各種学校	1	4
公共職業訓練	2	3
自営	11	2
無業者	21	4
計	204	64
4年制大学進学者の内、就職している者	204	208
を含む		
又無業者には、予備校・浪人も数える。		

- ▼繊維工業科
  - 松竹衣裳 赤本恵理子
  - 井上三枝子
  - 黒部亜津子
  - 大内紫規乃
  - 城東中央病院
  - 扶洋メンテナンスサービス
  - 大川広子
  - 笠井由美子
  - 田崎真珠 越野恵美子
  - 福徳産業 佐藤容造
  - サトウ繊維工業 白尾三和子
  - 三木商店 平岡和美
  - 小川テント 多田 幸彦
  - 中谷歯科医院 立山 秋子
  - 森六商事 谷口 恵子
  - 谷田 昌代
- 関西変成器工業科
  - 中川 薫
  - 中村服飾(自営)
  - 中村 篤彦
  - 田辺製菓大阪工場 橋本多恵子
  - 葦精版印刷 浜田久仁子
  - 東洋紡糸工業 速水 誠
  - 帝人繊維加工研究所 福田 妙子
  - 日本メリヤス検査協会 細川 邦子
  - 日本紡績検査協会 間川 啓子
  - 米田 博美
  - 米満 正利
  - エリート手芸 飯野 順子
  - ◎進学者 大村佳代子

- 要泉女子短期大学 柳原美由紀
- 四天王寺女子短期大学 吉田 美樹
- 夕陽丘女子職業訓練校 渡辺 順子
- 進学予定 小笠原久美
- ▼色染工業科
  - パシネー ユジーンヌ クー
  - ルマン ジャパン
  - 岩本加代子
  - バイエル ジャパン
  - 岡 さとみ
  - 岡畑興産 川崎ひとみ
  - 塩野義製薬 佐藤 和美
  - 大阪資生堂 島 佐登美
  - 日本紡績検査協会 城谷 亜子
  - 日華化学工業大阪支店 橋本美佐子
  - マリー クワント コスメ 鈴木 典子
  - チックス ジャパン 辰巳 和佐
  - 丸松 田中 敏子
  - 丸三愛 恒川 博美
  - 室内 寛子
  - 手塚久美子
  - 松竹衣裳 手塚久美子
  - 日本繊維製品卸検査協会 仲本 浩之
  - 松本くるみ
  - さざなみ服装 西 聡
  - 敷島紡績 箱崎 利恵
  - ミドリ十字 秦 美津子
  - 飯野 順子
  - 飯一栄 兵頭多美子

BASFジャパン

松尾 剛一  
毛製品検査協会関西検査所  
村上 幸子

◎進学者

大阪工業大学応用化学科  
原 妙子

東海デザインアカデミー  
平岡 一男

大阪美容専門学校  
篠藤三千代

大阪高津美容専門学校  
床桜 幸代

府立夕陽丘女子高等職業訓練校  
西川 順子

進学予定  
藤原 功子  
藤原まどか  
栗山美代子

◎家業手伝  
舟木 裕次

▼窯業科

奥野製業工業株式会社 青山圭作  
ハードグラス工業株式会社

西濃運輸株式会社 伊藤 公伸  
伊藤 雅章  
日本セメント株式会社 和弘

コーセー商事株式会社 順子  
幸大硝子株式会社 北尾 裕孝

山本防塵眼鏡株式会社 倉本和裕  
大阪精工硝子株式会社 小濱裕司

インテリヤ西田善語店  
小吹 修一

ミノルタカメラ株式会社  
関根 一郎

東洋ガラス株式会社  
長尾 隆治

トヨタオート大阪株式会社

西村みさ子  
梅鉢工業株式会社 長谷川 顕

泉陽光学硝子株式会社 長谷川貴嗣  
昭和電気硝子株式会社 渡辺 修治

自営  
川上 和夫  
堀 昭義

▼工業化学科

イサム塗料株式会社 富松 克次  
大阪ガス株式会社 正田誠一郎

大阪スバル自動車販売株式会社  
松山 博美

大阪合成有機化学研究所  
盛元日出男

ウシオ内装株式会社 椎葉 浩一  
兼松石油瓦斯株式会社 徳井義久

カーボンペーパー株式会社 昇  
共栄社油脂化学工業株式会社

恒和化学工業株式会社 上野正義  
コニシ株式会社 倉橋早由利

参天製薬株式会社 嵯峨山雅子  
塩野製業株式会社 後藤田寿美子

四国化研株式会社 福山 康浩  
新大阪いすゞ自動車株式会社 松本 光秀

大可伸線工業株式会社 山本雅之  
田崎真珠株式会社 竹島 秀数

タツタ電線株式会社 石橋 聡  
田中 透

田辺化学工業株式会社 森井慎己  
東洋製缶大阪工場

白旗 浩

東洋製缶阪木工場

中西 浩美  
森元 淳子

東芝ケミカル株式会社 福水 新  
東邦油脂株式会社 上村 弘文

トキワ実業株式会社 高橋 一路  
トヨクニ産業株式会社 中田岳利

内外カーボンインキ株式会社  
児島 隆志

日研工業株式会社 熊谷 孝  
日光化成株式会社 松本 久浩

日新染工株式会社 下原 章生  
日生化学工業株式会社 伊藤清彦

日本太平洋海底電線株式会社 岩崎 浩

日本メジフィジック株式会社 重本 剛三

日本管財株式会社 福島 眞  
久野染工株式会社 井上 勝弘

フジケミカル株式会社 吉村 和雄  
扶桑化学株式会社 吉田圭三

別所鍛鋳所株式会社 口元 浩二  
松下電器株式会社 日比 和代

間口運輸株式会社 清家三恵子  
メタルプリント株式会社

大和化学工業株式会社 大瀧あや子  
山六化成株式会社 柿崎 孝

ユニチカケミカル株式会社  
米田工作所 竹尾 好美

リユーコ化学株式会社 前田 和弘  
両国食品株式会社 徳山芳明

自営  
尾上 修二  
金林 潤子

鎌田 保

◎進学者

ナンバデザイン学院  
赤木 滋

国立宮崎大学工学部工業化学科  
森実 圭二

辻調理師学校 武田 佳広  
大阪府職業訓練所

進学予定  
西 政幸

トヨクニ株式会社 稲田 弘  
内外カーボンインキ株式会社

セイヤ工業株式会社 井上 孝二  
フタミリー株式会社 上田 健二

トヨクニ株式会社 大野 邦秀  
植田製油株式会社 岡本 信二

奥山本金属製作所 北島 佳弘  
木下 建一

オーエスシー警備保障株式会社 栗本 光章  
ヤマモトコービー株式会社 榎 淳

上野精器株式会社 佐古 正昭  
奥山本金属製作所 鈴木 博

衣笠総本店 高木 浩也  
浜国レール株式会社 宅見 一郎

大阪原木協同組合 津田 宏典  
日産プリンス大阪販売株式会社 富田 俊一

イズミ化学工業株式会社 仲内 啓治

軟竹中製作所

トヨクニ株式会社 中西 功伸  
阪神水道企業団 長藤 芳文

東洋製缶株式会社 藤井義隆  
備前門屋米穀店 本田 守

大阪トヨタ自動車株式会社 村上 優  
つるや株式会社 山口 宗久

大阪スバル自動車株式会社 山下 智史  
新光製糖株式会社 渡部 真也

トヨタカローラ大阪株式会社 有本 哲男  
門黒寿司株式会社 垣端 豊司

近畿配管株式会社 木田 浩人  
国鉄大阪鉄道管理局 島井 正一

高槻ダイカスト株式会社 末藤 忠博  
久瀬製作所株式会社 竹内 明光

三田工業株式会社 竹田 幸男  
トヨクニ株式会社 田路 芳美

大金製作所株式会社 多田 國雄  
福島工業株式会社 中濱 利一

平井商事株式会社 仲間 則一  
阪急鉄工株式会社 平城 勉

大和製作株式会社 廣田十三男  
赤松商事株式会社 藤田 利夫

阪神水道企業団 松永 明人  
トヨタカローラ新大阪株式会社 村田勝己

住金溶接棒株式会社 山口 正浩  
丸誠重工業株式会社 山村 眞次

自営  
追坂 孝  
高杉 雄大

近藤 正和  
手島 明輝

就職予定  
吉田 勝久

◎進学者

大阪工業大学I部  
中西 功伸

機械工学科 永田 敏行  
同機械工学科 永田 敏行

堺高等職業訓練所  
神崎 浩

東大阪職業訓練所  
中井 善弘

進学予定  
小田 誠治

大阪機工株式会社 明石 政広  
赤松商事株式会社 安芸 勇

日本メンテナンセンスエンジン  
アリング株式会社 伊藤 政博

関設エンジニアリング株式会社 乾 照雄  
日本物産株式会社 下村 英則

電通工業株式会社 井上 雅浩  
エレクトロラックシステム株式会社 内田 秀幸

第一建築サービス株式会社 柳本 義明  
小川 啓三

荒木電機株式会社 海老原 孝  
ニッタン株式会社 幸田 哲夫

電々公社 近藤 一彦  
城下 治

サンクロー株式会社 平田 幸治  
富田 浩己

- 〃 黒田 保弘
- 阪神水道企業団 中井博司
- シャープ近畿サービスセン
- ター機 中川 勇
- ナカヤ電機機 中谷 勇人
- 近 鉄 二里 昌宏
- 〃 米倉 建次
- 枚方三菱自動車販売機 榎田 雄市
- トヨタカローラ販速機 松原 孝佳
- 南海商事機 松本 充雄
- 〃 吉田 喜次
- 大阪トヨタ自動車機 高蓋 浩
- 〃 小倉 博
- シャープ機電化事業部 山口 孝好
- 東光精機機 山本 学
- 関西電力機 足立 均
- 石田施設機 天野 源次
- 〃 田辺 幸二
- 大阪市交通局 安東 一
- 京阪電気興業機石田 直己
- 〃 齊藤 忠樹
- 〃 首藤 久良
- 〃 田中 良和
- コンピニューターサービス機 伊藤 雅幸
- 光洋機械産業機岡山 繁雄
- 阪急電鉄機 甲斐 信隆
- 松下電器機 木村 茂雄
- 〃 柴田 俊男
- 古河電気興業機崎田 文人
- 山本金属機 重村 透
- 両国食品機 島崎 修
- 近畿郵政局 瀬戸 弘之
- ゴーグE.M.B 渡口 一善

- 大創プロセス機豊島 明
- 日本システムサービス機 前川 守弘
- 三菱重工日本ビクターエ
- コン販売機 山本 雄一
- 自 営 向吉 浩
- 〃 北村 隆光
- 〃 中溝 一幸
- ◎進学者
- 大阪学院大学 知念 利幸
- 大阪電機通信大学 松岡 琢二
- 〃 今井 英一
- 京都産業大学 西沢 隆行
- 桃山学院短期大学 三宅 浩一
- 大阪総合高等職業訓練校 市坪 美則
- 関西テレビ技術専門学校 春田 高伸
- 大阪整容美術専門学校 山下 弘幸
- 進学予定 杉本 亮



白水会 東京支部総会

初夏の一日(六月一日金曜日)午後六時から開催された。

本條幹事(S21)の開会の辞に続き、山下会長(A7)の挨拶、一年振りの出え大変嬉しい。大阪より御出席の、現藤倉校長、前高橋校長、鎌田大阪白水会会長への御礼の言葉のあと、今日は意気を取り上げ、大いに飲もうと締めくくられた。

鎌田大阪白水会会長挨拶

若い人達のいる集りに参加させていたいただいて嬉しく思っている……

藤倉校長挨拶

六〇年近い歴史と伝統のある泉尾工業に勤められたことは幸甚です。高橋校長

のあとを引き継ぎ、立派にやって行くつもり。

高橋前校長挨拶と乾杯

六年間の泉尾生活が楽しかった。泉工の今後の発展と皆さん方の幸せを祈って……

その他の大阪からの御出席は

泉尾第二工業高校々長 葦本義雄先生(C17◎)

母校S科々長 辻村 弘先生(S16)

母校C科 前川恒夫先生(A39)

乾杯後は各自、料理とアルコールが進み、その間出席者の自己紹介近況や、自社製品等の説明を兼ねての賑やかなPR、あちらこちらで人の集りができ、懐し

い話に笑い此起彼伏。恒例の福引きが始った。御出席の来賓の方、会員の

同伴で御出席、舞台上で御夫婦の仲睦まじい踊りを、御披露していただきました。楽しい雰囲気のおかげで、までも名残りがつきそうではなく、司会者の言葉で写真撮影。

大道幹事の閉会の辞で、今年の東京白水会は無事、終りを告げました。

岡崎弘男様(D17)

岩田義治様(C16◎)

欠席にもかかわらず御寄付をいただき、ありがとうございました。

河村祐治様(A18)

大谷正男様(A18)

遠いところからの御出席ありがとうございます。

午後九時三十分、新旧校歌大合唱の後来年の再会を約して解散

(M34 福田記)



方々からの御寄付により、今年もバラエティーに富んだ楽しい福引きが出来ました。

A4卒山口さんは奥様御

色泉会

〇 昨年は、色染工業科の実習場が改築された記念すべき年にあたりましたので、記念事業を推進することとなりました。その節には理事の方をはじめ各員各位には、多大のご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

左記のような事業を行なっていましたので、ご報告いたします。

〇 新実習場の見学会並びに記念総会、7月22日(土)午後には、新しい実習場を公開してもらい見学いたしました。3年卒の大先輩から、よりよき歩みの子供をつれた主婦会員まで多数出席がありました。

総会は、会場を大正駅近くの、天龍に移し、約60名の参加で盛大に開催いたしました。この日は、改築推進を強くはかられた長野忠雄元校長をはじめ学校関係者、色染工業科旧職員の方、先生方もお招きし、竣工を祝いました。

尚、この席で改築全般に

血をそそがれた北川先生に、ささやかな記念品の贈呈を行い、感謝の意を表しました。

〇 記念募金は、現在90件(個人でされた場合、クラスとして応じられた場合を、それぞれ一件として)83万7千円集まりました。この他に数件、理事段階で保管されているものもござい



クラス会便り

十六窯会

十六窯会(C14卒)は、四十年を迎え、五月二十六日夕刻から、生駒市国民宿舎生駒山荘において、恩師坪内先生をお招きし、十一名の会員とともに、ささやかな宴を開いた。今日までのお互の健康を喜びあい、今後の発展を祈念して乾杯、宴に移る。月並みであるが「おい元氣か」、「いまだないしとんねん」といった調子で始まり、仕事・家族・欠席者の消息・泉尾の想い出・軍隊時代・外国旅行等の話に花が咲き、夜の更けるのも忘れて語り、午前三時頃まで続いた。話の内容を披露すると、



息子が中国に招かれて技術指導を・中華民国で求めた陶磁器の本を先生にプレゼント・エジプト・カナダ・シンガポール・マニラ等の旅行先での土地、風俗や印象など・泉尾の先生にまつわるエピソード(数あるうち坪内先生もご存知ない)・野戦で元教官が直属の部隊長だった・野戦と内地の会員の文通・十六窯会員へ、企業協力・温泉巡りの成果・酒を健康的に飲む方法、等々。いやみがながい。共通の話題について寝るのが遅くなる。さて恩師坪内先生に話題を移そう。先生には以前に、新宮での会にお招きした。今回はお年からみてどうだろうか。もしお元氣ならと、お伺いしたところ出席すると、の返事、しかしやはり心配。ところが当日と翌日の言動や様子をうかがうと、全くとり越し苦労に過ぎなかった。当時の状況にスポットをあててみよう。当日昼すぎからの、激しい雷雨のなかを生駒山寺到着、急段を登りつめた山寺を訪れたという。幹事先づ宿舎につくと、姿勢のよい、おつむの髪黒いのが目につく。宴席では膝もくすされず、僕は西式健康法をやっているんだときかされた。

部屋では居ならぶ連中に、若い頃の歌を自書で披露され、すみれの唄を美唱。床につかれたのが三時半、同室の幹事のいびきで、目が覚めたときは五時すぎ、屋上で四方の山の景色を眺め、部屋で朝食まで雑誌を読まされていた。宿を出、山頂に登る。風が冷たい。店屋の開くまで数十分、先生は黙って箕面の方をみつめて平然。下山のケーブル内では、座席の下にいる会員の光る頭をみて、まぶしいなと、笑っている先生。さて翌朝、生駒山に登り店屋で一服、ようやく視界がひらけてくる中を、下山する。生駒駅で、他日再会を約して散会した。先生には力強く握手をされ、別れを告げられた。我々の会は友情で結ばれ、四十年も続けてきたのは、清水幹雄君の尽力によるものである。我々は淡々としてこの会を続け、生がいを求めていきたいと思う。末尾ながら、泉尾工業、白水会の発展を祈ります。

- (出席会員) 飯野、上田、桑山、柴田、清水、白岩、高橋、谷森、福堂、藤原、上野

A20期生同窓会

工業化学科二十期生(17年12月卒)は卒業35年を迎えて一昨年11月大阪ミナミの「石亭」に会合をもった。山本一男先生夫妻に玉嶋先生、家森先生、佐々木先生をお迎えして総勢16名が参会、一盞を酌み交しつづつ懐旧談につきない一刻を過ぎたあと、なつかしい校歌を斉唱の上再会を約し別れたのであった。



- 前列、右より、玉嶋、山本、佐々木、家森各先生と20期生11名。



同窓会(D18) 諸兄へ

4月の新年を迎えて、何かとご多忙な事と思えます。3月3日「新信」で久しぶりに懐かしい顔が揃い、時間の経つのも忘れて旧交を温めることが出来ました。当日の出席者は宇井、小野、久保井、合田、鈴木、多田、谷奥、多喜、武林、高橋、寺山、野田、長友、浜口、坂東、木村、松村、松浦、丸山、山根、中川の21名でした。

当日決めました事を再確認の為に次に掲げます。又「新信」に出席して頂けなかった諸兄には連絡と致しますので、次の会合には是非出席して下さい。①今年一回の総会を開催する(会費は五千円予定)②特例として本年に限り秋の土曜日の晩から谷奥君(奈良市経済部長)の案内により奈良で一泊の集会を行う。③当日は過剰期にある諸兄の子息、子女の写真を持参して下さい。④秋の集会には西出先生にお誘いの連絡を取り、又同期生で参加の希望の方あれば出席して下さい。

M48卒同窓会

去る五月二十六日桜宮の大園園において、化学機械科四十八年卒業生の同窓会が開かれた。当時担任の藤平先生、副担任の佐々木先生出席のもと、おりのからの雨、雷にもかかわらず二十名弱の同窓生が集った。手始めに出席者の近況報告が始まったが、ヤジやドトウの渦まく中、相も変らずバカさかげんに一同変りがないことを確かめあつて旧知を温めた。いずれも社会の中堅として活躍している様子。なおまだ大学院に通っているもの、留学を目標しているものなど学生も数人。

話は本年退職された田中先生、実習の太田先生などなつかしい思い出話に花を咲かせていたが、結局落ち着く所は「このクラスは泉工でも屈指の出来の良いクラス」と一同の自画自賛になった。最後に、若くして他界した今は亡き故今井君をしのんで一同黙禱し、校歌「栄えある伝統……」を三唱の後、二次会へと夜の街に繰り出した。

同窓生のみなさん

お元気ですか

昭和四十二年織維工業科  
卒業生同窓会開催

若葉の五月二十七日、南  
の半田屋にて同窓会が開か  
れました。二年ぶりの会合  
で、話はずみほんとうに  
楽しいひとときをすごすこ  
とができました。



学校を巣立って十二年、そ  
の間に田原重信君が事故で  
亡くなり、今また植松英利  
君が交通事故で死去されま  
した。まことに痛ましく、  
心より哀悼の意を捧げま  
す。同窓生の方のなかにも  
怪我をされた方も何人かあ  
ると聞きます。みなさん、  
どうか安全運転して下さい  
ようお願いいたします。  
同窓生のなかには通信不

通の方もありますので

うか幹事の方までご連絡下  
さいますように。次の同窓  
会には多数お集り下さい。

連絡先：幹事、田中 仁  
TEL (六三三) 四九

我ら「さなくぼ会」

D 49 久本美恵子

さなくぼ会これが私達の  
同窓会の名前です。少し変  
っていますが、由来を説明  
するのはややこしいので、  
ここでは省きます。知りた  
い方は49年の卒業生までお  
問い合わせ下さい。

私達も卒業して早や5年  
一応はりっぱな社会人とな  
り、主婦となり……母とな  
り、クラスの大半は女子で  
あるせいか(37名中女子は  
33名です)一度目の同窓会  
は皆きれいに化粧した顔  
で再会しあうのにおどろ  
き、二度目の時はお互いの  
会社の状況やお給料の話、  
それに結婚話もゴッポツと  
……そして今回4年ぶりに  
行なわれたというところもあ  
って、住所の変っている人  
が多く、幹事としてはあわ  
てふためいた訳ですが、20  
名以上の出席数ですはひ  
と安心。

トを感嘆の声で迎えるあの  
雰囲気は「いやー同窓会っ  
て本当にいいもんだですね  
ー」とどこかで聞いたよう  
なセリフが……皆んなそろ  
って席について、まずそれ  
ぞれの近況を聞いてみると  
結婚した人がクラスの数ぐ  
らいで、早い人になるとも  
う子供が2人目だとか、中  
にはベビーカー片手に子供  
同伴で母親ぶりが板につい  
ている感で思わず私達も  
もうそんな年かと思心して  
しまいました。自己紹介の  
時も「名前が××から○○  
に変わりました」などとこ  
やかに挨拶しているようで  
すが、未だの人は「相変ら  
ず××で今年には何んとか  
か」などと、変に力んだり  
して笑いの絶えない同窓会  
でした。

D 50卒同窓会

担任六辻先生、副担任柴  
原先生と卒業生17名、計19  
名で6月8日、南一とんぼ  
り」で行ないました。約2  
時間半、話をしたり歌を唱  
ったり、とても楽しい日で  
した。この日の参加者の中  
で結婚している人が5名、  
そのうちひさしぶりの外出  
で許可を頂いてゆっくり  
している人、子供が待って  
いるからといって帰って  
いた人、「うらやましい」  
と未婚の人は云ってまし  
た。これからは、だんだん  
と結婚される人が増えてい  
く事でしょう。その度に同  
窓会の集まりが、悪くなっ  
てくると思います。でも人  
数が少なくなっても続けて  
行きたいものです。

次回の幹事

- 園方さん
- 橋野さん(旧姓吉本)

A 11 柴尾 一浪

- みちのくの
- 旅の一步や山桜
- 老翁や
- 僧一人見ず雲殿寺
- 時として
- 啼く鶯や雲殿寺
- 塩釜の
- ゆかりの笠も緑蔭に
- 夏立ちし
- 松島湾の風寒く



車輪塗料・建築塗料専門メーカー  
**ISAMU**  
**イサム塗料株式会社**  
代表取締役社長 清水 博 司 (A17卒)  
東京・大阪・名古屋・滋賀・九州・仙台・広島・高松

大阪白水会の発展を祈ります  
支部總會多数参加で、ますます盛大  
(東京および周辺地区へ転勤の会員諸氏  
是非支部事務局までお知らせ下さい。)  
東京支部長 山下辰雄 (A7卒)  
支部会員一同  
支部事務局：東京都葛飾区四つ木3-3-5 本多染工内  
本多 実(D16卒) TEL.03-694-6563

日本の経済発展と国際交流の活発化にともない、わが大阪白水会員の海外での活躍も目立つようになりました。

これら会員の何人かより特に投稿をいただきましたので、皆様にご紹介いたします。

# 〔特 集〕 国際化時代に活躍する 白水会員

たいと存じます。  
慣れない土地で、言葉のカベを乗り越えて活躍されておられる諸兄に、紙上を借りまして執筆のお礼と激励のあいさつを送りたいと思います。

## 西 ド イ ツ

C 47 岡田 隆男

白水会報に一筆とたのまれましたので一言書かせて頂きます。外国へ出かける日本人は年を追うごとに増加し、観光のみならず「国際化時代」と言うこともあり多くの日本人駐在員が世界各国へ雄飛しています。「それなら私も海外で自分の力を試そう」と思い駐在に至ったわけです。ハンブルグに赴任してまだわずかなため現在は仕事に追われる毎日です。現在の仕事はカメラのサービス部門でアフターサービスを担当しております。サービスはユーザーが会社の信用を失わない様、細部まで気を配り迅速かつ質の高いアフターサービスを行わなければならないのです。

駐在の中で一番の問題はドイツ語、習慣、風俗等で精神的にまいってしまいます。世界各国の日本人駐在員の方々もこれを克服し頑張っておられるので、私も毎日少しではありますがこの壁にいどんでおります。苦勞すれば楽しい面も多くあります。休暇を使いヨーロッパ各国を周遊し、1週



冬はウィンタースポーツのメッカでもあるヨーロッパ、世界の有名なスキー場がずらり、スキートの好きな人には最高！ 私達も背伸びせず着実に努力をすれば同年代の人々の中に入っても立派にやっていけると思っています。

岡田隆男氏、嘉美科47年卒  
現在、ドイツ、ハンブルグ  
Minolta カメラ輸入社  
駐在。連絡先、Minolta  
Camera Handlungsgesellschaft mb.H. Kurt-Fischer  
Strasse 50 D-2070, Altona, West Germany.

おことわり。紙面の都合でそれぞれ文章を若干省略させていただきます。お待ちしております。

## シンガポール

D 39 仲田 良夫

海外勤務を命ぜられたのが、今年の始めまだ各社の年始あいさつ盛んな頃で当社が親会社の関係で海外で同種の仕事をすることは昨年中から会議の折りに聞いていたし、出向メンバーも決定していた。しかし、今年の正月にメンバーの先輩社員の家でアクシデントが発生し急にメンバー変更となり、作業の関係で小生が海外勤務になることとなった。急の出来事のために何んの準備もなく、三月十五日にシンガポール行の機上の人となりました。もちろん海外旅行の経験もないため渡航手続等は初めてで困惑致しましたが、幸い現地のトレーニンング者の帰国と一諸だったので彼等に何かとリードしてもらった。会社は新会社をシンガポールに設立して日本人スタッフ五名と現地者二五名程度の小規模のものであります。会社の設立、その他についてはすでに親会社や先輩社員がシンガポールに先行しており詳しいことはわかりません。

強や知識も充分でなく、出発時は不安で一ぱいだったが、トレーニンングに来ていた現地者の中に日本に留学に来たため思い切って海外に飛び出しました。  
シンガポールは赤道よりわずかに北で年間27℃と30℃の夏ばかりの熱帯気候の国で、全国土が淡路島程度の大きさです。  
人種は中国人、マレー人、インドネシア人、インド人、英国人、日本人と世界の人々が集まっているように、特に中国人系が多いため、われわれ日本人と体形は変わらず、日本の町を歩いているのと変わりがないが、口から出る言葉が中国語であったり、英語になるため日本との差を感じます。  
シンガポールは古くから貿易国として栄えた英国系の国で、最近国内に工業用の土地を拡大してアジアの先進国、日本等から企業輸入をしている。日本の大企業はほとんどは進出して来ており、町の中は緑を観光として、最近観光の日本人とはよく出会います。観光客ばかりでなく私と同じように海外勤務となった人々が多く、全人口二〇〇万人の約二%と三%の日本人がこちらで生活しており、

国内には中学校までの日本人学校がある。国の治安は大変良く、出発まえよりタバコのすいがらを道路にすると\$五〇〇の罰金といわれ、本当に街中に掲示されています。  
教育、入社試験の方法は日本と少し様子が違う。インタビュ(面接)で入社試験を行う。会社との契約となり、経験だけが給与の参考となる。このため男女の差はなく、女子でも優秀な人は大切なポジションをつとめている。平均給与は日本の半程度、最近企業の引き抜が多いため労働力不足となり、給与も上昇しており殆度度になっていく。  
日本人は会社に一度就職すれば出来るだけ長く勤めて階段を一步一步進む方法であるが、この国においては経験を多くつむむためには会社を転々と変わり、その都度経験を多くして高い給与がもらえるという風習があるために、一企業に長く就業することはそんなに良い事ではなく、また就職先の変更も通常であるため、日本人との考え方の差が大きい。  
このためインタビュの時、これも出来る、あれも出来るというが、実際は

やっているのを見た程度か、やってみたらいいの心細いかざりである。

しかし、中にはたしかに経験の充分な者もあり、人を働かすというこのむずかしさが、日本の国内の二倍も三倍もむずかしい。更に言葉のハンデもあって日本国内でも関東地区、関西地区で意味のとり違いもあるように、英語と日本語ではその差も大きくなりま

す。でも現地者といえどもやはり人間、肌の色や言葉が違っても気もちは通じるもの。これからもヒニーマンリレーションにより接していくのが、一番近道と思

い、何事もあたって砕けて前に進める方法で頑張っていきたい。

仲田良夫氏 色染工業科

39年卒、セツナン化成株式会社。現在、シンガポール駐在。

連絡先 Kagase Singapore (PTE) Ltd, Yen San Building, 288, Orchard Road, Singapore 9.

シンガポール

M43 和田 隆喜



泉尾工業高等学校の諸先生方、白水会員の皆様方がお過ごしでしょうか。私も四十三年に卒業し早や十年が過ぎました。卒業と同時に日立造船機築港工場に入社し、早や十年を過ぎたわけです。

入社以来、船舶のエンジンやポンプ類の修繕業務に携わってきましたが、その間、苦しい事や楽しい出来事等、いろいろな思い出がありました。過ぎ去ってみればどれもなつかしく思われる事ばかりです。とりわけ一番楽しくうれい事は修繕が終り、試運転も順調に済み、船が出帆して行く姿を見る時の感激は何とも言えません。

ていましたが、一瞬「H・R・D言うたところやるか」と考えたほどでした。あまり突然だったので二、三日程余裕をもらい、社内の同僚や先輩に相談しました。以前から、出来る事なら、行って見たいと思っていたので両親には有無を言わず納得させ、二日程後に「行かせてもらいます」と返事をしました。

H・R・Dとは、正式には HITACHI ZOSEN ROBIN DOCKYARD (PTE) LTD. といえます。日立造船機築と現地の合弁企業であり、大型ドックも二本そして日立造船よりの出荷者も現在約七〇名になり、約一、〇〇〇名余りの現地職員と共に協力して、今や東南アジアでも有数の超大型修繕工場として育っています。そして出向者は、二年以上勤務する者と、われわれのように二年以内勤務する者とに区別されています。そして、われわれの任務は、現地職員に対して、修繕業務を教える技術指導員です。勿論、指導はかりでなく、実際に作業をし、修繕船が出帆するまでは、日曜日も出勤し、残業や徹夜作業をすることも度々あります。

さて、昭和五十二年十一月末日にいつものように作業をしていますが、上司である作業長に呼ばれ「H・R・Dに行ってみないか」と突然言われました。H・R・Dの事は前々から知

シンガポールの国語はマレー語ですが、やはり英語が一般的に使用されているようです。そして最近一部の小・中学校で日本語も教

えています。これはシンガポールの目標が、日本を見習え、ということからきているようです。

日本の企業も多数進出しています。造船会社も日立、三菱、石播と三社、電気メーカーも、松下、三洋シャープ、日立、ビクターその他中小メーカーも多数進出し、土木、建設、食品飲食店も数多くあります。街には、日本製品があふれ、衣服類はほとんど日本製、自動車も六〇%以上が日本車でしょう。それだけに、これから日本の企業が

シンガポールに対してどのような役割を果たすのが非常に大きな問題であり、進め方次第では、数年前に起った反日感情が再燃しかねないと思います。私がH・R・Dへ赴任して感じた事は、工場全体に活気が溢れ、従業員が非常に若いという事でした。平均年齢は二七・八才位ではないかと思えます。作業長ですら二五才、係長でも二七才という者もおります。そして現場の作業員は二〇、二五、六才がほとんどで

家庭金物・雑貨・プラスチック問屋

石川物産

石川 博信 (M37卒)

〒551 大阪市大正区三軒屋東四丁目14番13号  
TEL 06 (552) 3 2 4 7

大阪市大正区三軒家東4丁目13番18号

千喜良重量有限会社

TEL. 06-551-5393 代表

代表取締役 千喜良 力  
千喜良 敬 (M51卒)

一般区域運送事業

大阪市大正区泉尾1丁目11番25号

千喜良運送店

千喜良 力  
自宅 TEL 551-6811

す。しかし、作業員の質はあまりよくなく、指導員が少し目を離すと休憩したり、ティータイムには、どんなに急ぐ仕事であっても休む有様です。そのため正当な理由なく残業を拒否したものは、出勤停止、それが度重なると、クビという懲罰も課せられています。そんな具合ですから、作業も順調に進んでいるとは言えません。また、日本人指導員をたよりにして少く遅れても日本人がなんとかしてくれるだろうと言う期待も持っているようです。しかし、その反面、われわれが一生懸命やっているのに、それを当然のように思い、たまに暇な時、船内を見回っていると、あたかも毎日遊んでいるかのように「シンガポールへ遊びに来たのか」と言われた事もあります。現地作業員と日本人との間のトラブルも度々起っています。

しかし、一部には、すぐれた作業員もおり、作業の内容について熱心に質問して来たり、われわれと一緒に一生懸命作業している者もいます。このような作業員をもっと増やす事がわれわれの使命だと思ひ、頑張っています。

私の任期もあと八カ月を

余すばかりになりましたが、優秀な作業員が一人でも増え、やがて彼等がシンガポールの造船業を背負って行くことになれば、何よりの喜びと言えるでしょう。

最後に、海外生活をする上で最も感じた事は、やはり語学の重要さだと思ひます。シンガポールの国民のほとんどが二カ国語以上を話し、小学校の児童でさえわれわれよりも、素晴らしい英語を話します。そして健康です。私自身もつい最近、激しい下痢と吐き気で夜中の三時に救急病院の世話になりました。

これからも泉尾工高の卒業生の中から、海外で活躍される方々がいらっしやると思ひますが、現地の発展のため、ひいては、日本の名をより一層高めるために活躍される事をお祈り致します。

和田隆喜氏 化学機械科  
43年卒、日立造船機務港工場入社。現在、シンガポールに駐在。連絡先、H.R.D. (PTE) Ltd., Jurong, Singapore 22.

アメリカ

E 43 栗木 茂



われわれが海外に出向するケースは、二つあります。その一、本社（米国、マサチューセッツ州、メイナード）に行くケース。その二、東南アジア、オーストラリアに対してのサポート。これは現地のエンジニアに対しての、サポート（技術援助が主な仕事）。

本社に、出向するのは、新しい機種、または既に日本に入っている物に対して、トレーニングのため講習を受けに行く場合が多いです。日本以外のサポートは、本社の人員が、いない時に日本から出ますが、本質的には本社から出ます。

私は、二度本社に行きましたが、(76年9月/11月79年1月/4月)、米語を理解するのに、時間がかかり、また質問された事は理解しず、大変苦勞し、つくづく英語の重要性を痛感しています。

ます。

アメリカ人は、プライドが高いのか、米国以外の人間に対して、馬鹿扱いが多く、特に、日本人に対しては、風当たりが強い。一緒に仕事をしない、相手が苦勞をしているのを助けても、あまり良い顔をしない。これは地方より、都会の方がこの傾向が強いように思われる。一度日本に来た者、あるいは日本の事について、少し知っている者は、この逆のケースが多いです。

アメリカ人の生活は、貧富の差が日本より大きい。質素な生活をしています。物価は日本より安いのですが人件費が高く、自分で出来る事は、何でもするようになります。二度の海外生活において、言葉、生活環境等の違いがありますが、私自身の考えでは、日本より住みやすいような気がしますが、但し、言葉が十分話せれば、という事が、必要条件になります。

栗木 茂氏 電気科43年卒業、富士通機務入社、電算機技術の研修の為、アメリカへ二度留学。現在、D・E・C日本支社勤務。連絡先、東京都新宿区中井2-27-6、光月荘内。

印刷のことなら

何んでもご相談下さい

印刷と紙器

株式会社佐々木印刷所

大阪市福島区福島8-9-19 電話 大阪(451)7013-(453)2460

昭4A卒

鷺州 やまがき

木内 政雄 (C33卒)

大阪市福島区鷺洲2丁目15-33

TEL. 458-5819

アメリカ

D 39 佐原 忍

「光陰矢のごとし」と言う格言があるが、早いもので母校を巣立ち15年の歳月が流れ、在学当時の懐かしい思い出が走馬灯のように私の頭を駆け巡ります。当時は南先生を新顧問に迎えた、タッチフットボール部（現在アメリカンフットボール部の前身）に所属しており、毎日の厳しい練習の成果が実り大阪府大会春秋連続優勝、近畿大会、全国大会連続上位入賞と、泉工フットボール部第一期黄金時代を築き上げたものでした。今でも忘れられない思い出の一つとして、近畿大会を目前にひかえ台風の接近中にもかかわらずチームメイトと共に暴風雨の中でボールを持って走り、蹴り声を出し合い、体中、雨と汗と泥にまみれ、実戦さながらの練習を夜遅くまで繰り返し、皆んなで近くの銭湯で体を温めたものでした。世間でよく言われる学業とクラブ活動は両立しない、どうしてもクラブ活動で時間を取られ、学業が怠りがちになると言う意見があるが、在学中の後輩諸君に少しでも参考になればと



思い非常に手前味噌で恐縮ですが、私は学業とクラブ活動の両立は必ずしも可能であると言う信条を元に両方に努力したものでした。私がデュボン（よくガスマライターのメーカーと間違えますが、このデュボン社とは全く関係がありません）に入社したのは丁度デュボン・フアーズト日本支社が創立した年の11月で、北川先生に同行を願い面接に行きました。今か

ら約14年前で、染料薬品部の試験室勤務で先輩には、大門氏D33がおられ、氏は現在ケミカル・ダイズ・アンド・ピグメント部の営業次長として活躍されておられます。一身上の理由で昭和45年に再入社し、二年後の昭和47年に再入社し、その後染料薬品事業部の営業課長を経て昭和53年1月本社の事業部合併と同時にテラウェア州にあるデュボン本社に転勤になりました。本社には以前にも出張で来た事は

ありましたが、今回のように転勤となりますと心構えが全然違うのと同時に日本支社初まって以来と言う事で、事業本部長や大門氏をはじめ各先輩諸氏にいろいろ相談を持ちかけ「若いうちは何事も経験、将来きつと役立つだろう」と腹を決め、日本を未だ正月気分が醒めやらぬ53年1月6日渡米致しました。

こちらでの職務は、顔料それもデュボン社が開発した世界に類を見ないキナクリドン系高級顔料の主に自動車塗料用の勉強に毎日頑張っています。

さすが世界でも屈指の総合化学会社だけあって豊富な人材、設備、公書、安全に関する考慮が徹底しており、今年度の世界最優秀化学企業に選出されたのもうなずけるようです。

アメリカの人は仕事は仕事、余暇は余暇と完全に割り切っていると言いますが、日本と違って退社後同僚とショット一杯とかパチンコ、麻雀とかいうつき合いはいつつき無く（勿論ここにはパチンコ屋、雀荘もありませんが）仕事が終われば自分の時間、家族と過ごすというのが通例で、当初私にはそれが何んとも、もの足りなかつたものでしたが、

今ではそれにも慣れ毎日五時前後には家に着き、食事の前に飲むビールが毎日の日課となり、日本では信じられない横断亭主に変貌せざるを得なくなり、酒量も日本の当時に比べぐつと少なくなりました。でも帰国致しますと日本の良い習慣にすぐ順応できるものと思えます。それを期待しているのかも知れませんが）

こちらで生活して感じた事ですが、アメリカ人は非常に考え方がドライで、義理、人情、愛社心、最近薄らいで来たといわれるもの、はるかに日本人の方が強いのではないかと思います。反面合理性、良

い意味でのビジネスライク、人の事を干渉しない、時間観念等は彼らに見習う点ではないかと思えます。想像を絶する過酷な冬を二度こちらで経験し、今が一番良い気候、ワシントンの桜も終り、今はつつじの季節、私のこの海外勤務で得た経験も今はつまみですが、将来このつつじのように満開する事を願いつつ筆を留めます。

佐原 忍氏 色染工業科39年卒、デュボン・フアーズト入社。現在、アメリカの本社に出向。連絡先、7709 Society Drive, Claymont Del., 19703, U.S.A.

無限の未来に挑戦する  
上野精器

超精密産業部品及び治器具製造

サファイアー・セラミック・フエライト

水昌・超硬合金

大阪府守口市北斗町20の1

上野精器株式会社

代表取締役 上野 勇 (M25年)

TEL 992 一代 2371

営業品目

- 空気圧縮機
- 送排風機
- 各種排気装置
- 瓦斯圧縮機
- ポンプ各種
- 各種集塵装置

三國産機株式会社

代表取締役 福原初男 (C17年)

事務所 大阪市大正区千島1丁目13番20号  
TEL (551) 6119・0369

工場 大阪市大正区三軒家東6丁目5-10  
TEL (551) 0879

雑 感

A 4 山 中 不 二 夫

(週刊建設新聞社社長)

諸先生方には日夜教育にご精励の御事と邦家のため大慶此事に存じます。

このほど白水会報ご送付を受け有難く拝受いたしました。小生仕事の性格上大変多忙でいつものようにゆっくりに見たいと楽しみに取って置いたため会費振り込み用紙の入っていたのも知らず、化学会の出欠通知も出し遅れ大変悪いことをしてしまいました。そのため白水会総会の案内も見落し、これも不参加、何とだらしない大先輩かと自分作らあされております。

巻頭言「敗馬号鳴」を書かれた鎌田会長には未だお目にかかっておりませんが立派な会長を得たものと喜びに耐えません。次の総会には万難を排しても出席し氏の声咳に接したい存念であります。今後は会報到着と同時に開封し悔を残さぬよう心掛ける心算です。

ご送付を戴いた会報懐しく隅からすみまで拝見しました。五十年前に溯ってあれやこれや思いを致すと

き、日頃意にもかけないことが走馬灯のように見え隠れして、歳甲斐もなく感傷的にさえなります。

閑話休題、会報編集は大変なろうと思えます。小生など本職でさえめんどうな事などと思いませんか

始めたのかと今更悔いております。不思議なもので門前の小僧……にある通り親父が大正の中頃からジャパ

ンタイムスという英字新聞の記者をしていた関係から

か戦時中折角政府から戦時研究員補助員の肩書をもらい稀土類元素の分析やら湿

式精錬によるレアメタルの製造研究をしていたのです

が、敗戦と同時に子分数名を引連れ退社、当時隆盛を

さわめたサッカリンの原料を造り開サッカリンのメー

カーに売却し、俺は脱税をしていないぞと変な理屈を

つけて工業薬品を生産して

たのですが、国情が落着くに従って闇屋は消える運命

にあったのです。それから習わぬお経を読むことにな

り、遂に三十年を迎えるこ

とになりました。

本式に習ったことのない編集やら取材でハトハトになる訳ですが、よくぞまあこんな面倒な仕事を引受けられたものかと他人事ながら同情を禁じ得ません。しかし誰かがやらねばならぬ訳で精々ご努力を頂きたく存じます。少々誤植があったり脱字があったり、また明治生れには難解な文章が散見されますが誤植、脱字については私の盟友であり命の恩人でもある佐々木義人君に些少の責任もある訳です。大きな声ではいえませんが小さな声ではよくご注意をとお願ひする積りであります。

長野蘭蔵氏がおっしゃる通り本年三月をもって卒業五十年と相成ります。その間幾度母校の門をくぐったことか、思い出しても汗顔の至りであります。残り少ない人生何かお役にたちたいと模索中であります。一度生れ変わった母校を見学に参りたいと思えます。その節にはよろしく。

勿々不宣



濱 国 レール 株 式 会 社

本 社 大 阪 市 南 区 鍛 冶 屋 町 6 0

電 話 (06) 271-7 9 7 6 (代 表)

主要取扱品目

〔 建 築 家 具 金 物 〕  
アルミ製型材・アルミ網戸  
高級欄間・木製品等

総合卸商社

濱 国 グループ

株式会社 新潟ハマクニ

新潟県三条市金物団地  
電話 (02563) 8-4 1 8 1 ~ 2 番

株式会社 宮崎ハマクニ

宮崎市大字赤江飛江田 8 7 4  
電話 (0985) 52-1 2 5 5 (代)

台湾濱国股份有限公司

台北市長春路 1 2 9 號 5-2  
電話 (02) 521-6 5 1 1 ~ 2 番

札幌営業所

札幌市白石区北郷五条6丁目3  
電話 (011) 872-2 7 7 2

東京営業所

東京都足立区中央本町3-14-25  
電話 (03) 849-8 6 7 5

プラス  
十 α の話

C 4 長 野 蘭 蔵 (副会長)

「テレビ」の番組でもな  
いが、昨年、東京の親類の  
息子が品川の「プリンスホ  
テル」で結婚式を挙げるの  
で、上京を機会に同期のK  
君に十年振りで会った。K  
君は有名なA硝子社を定年  
退職して、現在は奥さんと  
二人暮らしで、奥さんの身  
体がすぐれぬとの事であつ  
た。久方振りに話がつきぬ  
のであつたが、その折十α  
の話をしてくれた。それは、  
K君が退社した後、元の  
のA社からよばれ「アルミ  
ナセメントか電鋸煉瓦」か  
いずれか不詳であるが、電  
気研操業の指導をたのまれ  
た時のことであつたが、大  
学出の若い人達がやつても  
なかなかうまくいかぬのを

解決してやったとのことだ  
ある。その時、K君は大学  
出の諸君に十αがないの  
だ、不足しているのだとい  
ったのである。  
私はこの話を聞いて非常  
に興味をもった。これは永  
年の経験から得た「コツ」  
というのか、技術というの  
か、自然のうちに会得した  
ものである。普通のもの  
が一であればこれに十αを  
加えて問題が解決されるこ  
とが多い。私達の人生道中  
で経験されることである。  
私もO社で研究員をしてい  
た頃、人工軽量骨材の研究  
に日夜すごしていたとき、  
粘土を造粒して一二〇〇度  
位で焼くと粒と粒とが融着  
してしまふ。このことを解

決するため苦心していたと  
きがあつた。町で「くり」  
を砂中で焼くのを見てピン  
トを得て、まぶし粉を加え  
て焼成したら如何かと考え  
ついて、軽量骨材の製造を  
完成したことがある。この  
まぶし粉が十αである。私  
達は、仕事が一昨日研究  
であり前進であるが、工業  
人として現在に満足せず十  
αをうむことを忘れてはな  
らぬと思う。  
私も現在迄O社、A社、  
N社等に勤めて来たが、い  
たるとくに泉尾工高の卒  
業生がおり、会社の幹部と  
して活躍していられること  
は力強いことである。これ  
らの人は年と共に各人の十  
αを大きくして、その地位  
をきずかれたものと思う。  
「ライセンス」をとること  
も各人の十αを大きくする  
ことにならう。

白水会の躍動

D 16 本 多 実

新しいスタイルの白水  
会報が完成して三年目に入  
ろうとしている。白水会の  
歴史の年輪が増えるに従つ  
て老化するどころか、最近  
特に若返りながら異様とも

思えるエネルギーが充満し  
つつある。今迄名簿の編纂  
さえも危ぶまれてきたのに  
、会報の広告や会費納入等  
に資金面でも、今迄の眠り  
から覚めた獅子のように卒

業生の間で徐々に白水会員  
意識の昂揚が表われてき  
た。従つて東京支部におい  
ても多間に漏れず若い力  
が旺盛で、遠く東京の地で  
お互いに白水会員が助け合  
つて行かなければと言ふ気  
力が充実してきた。  
ここまで来たかにはM  
西井前会長、D鎌田会長の  
あのエネルギーがななり

ドがあつたればこそと考え  
られる。今後ますます白水  
会が若返り発展するために  
は、次から次へと昭和二十  
のしかも昭和十年代からさ  
らに二十年、三十年代の白  
水会長よ出でよと声を大に  
して叫びたい。  
白水会の将来の存続発展  
は一にかかつて若いエネル  
ギーに俟つ他はない。

始めての試みでもあり、  
多忙なOBのこととて(職  
員は8日が市立大会のため  
9日は代休)開催には一抹  
の不安もありましたが、べ  
り下さい。

OB、職員懇親ゴルフコンペ  
の呼びかけに、早速、実現  
しようとの声があがり、世  
話人が中心となつて各科職  
員、OBに呼びかけたところ

昨年(51巻)の紙上から  
の呼びかけに、早速、実現  
しようとの声があがり、世  
話人が中心となつて各科職  
員、OBに呼びかけたところ

OB 23名、職員14名、計37名  
にのぼる多数の方々から申  
込みがあり、次のように懇  
親ゴルフコンペを開催しまし  
た。

成績は別表の通りです。  
ブレイ後の成績発表・懇  
親会には和気あいあいの内に  
すすめられ「来年も是非や  
らう」の声も出、再会を約  
して暮れ行く大和路をあと  
にしました。(北川記)

53.10.9 泉工 OB職員懇親コンペ成績表

(18ホールストロークプレー、H.C.P.はベリヤ方法)

N	A	M	E	( )	OB 職員	あしび コース	みずか コース	GROSS	H.C.P	NET	RANK
西野	京	野	(S.28)			54	45	99	14.4	84.6	
三井	一	俊	(S.28)			44	49	93	9.6	83.4	N.P X 2
日松	三	俊	(S.22)			51	52	103	19.2	83.8	
山田	茂	三	(S)			51	53	104	21.6	82.4	N.P
米田	山	正	(S)			44	57	101	24.0	77.0	9位
津川	山	正	(S)			46	50	96	16.8	79.2	
水野	山	正	(S)			40	45	85	12.0	74.0	5位
早川	文	三	(D29)			47	44	91	9.6	81.4	
早川	文	三	(D31)			42	40	82	7.2	74.8	7位 B, G
北川	文	三	(D)			51	54	105	21.6	83.4	
北川	文	三	(C17)			51	46	97	16.8	80.2	
北川	文	三	(C17)			55	52	107	21.6	85.4	
北川	文	三	(C37)			48	47	95	12.0	83.0	
北川	文	三	(C37)			42	50	92	14.4	77.6	
北川	文	三	(C)			52	55	107	28.8	78.2	
北川	文	三	(C)			57	56	113	28.8	84.2	
北川	文	三	(A31)			54	65	119	33.6	85.4	
北川	文	三	(A31)			45	45	90	9.6	78.4	
北川	文	三	(A33)			43	46	89	12.0	77	10位
北川	文	三	(A37)			60	58	118	26	82	
北川	文	三	(A)			54	60	114	21.6	82.4	B, H
北川	文	三	(M34)			57	64	121	21.6	99.4	
北川	文	三	(M34)			50	53	103	19.2	82.8	
北川	文	三	(M34)			44	47	91	9.6	81.4	
北川	文	三	(M34)			58	52	110	33.6	76.4	8位
北川	文	三	(M34)			49	46	95	4.8	90.2	
北川	文	三	(M)			56	57	113	26.4	86.6	
北川	文	三	(M)			52	56	108	33.6	74.4	6位
北川	文	三	(M)			53	49	102	21.6	80.4	
北川	文	三	(E4)			48	52	100	31.2	68.8	準優勝
北川	文	三	(E4)			44	47	91	9.6	81.4	
北川	文	三	(E4)			45	50	95	21.6	73.4	4位
北川	文	三	(E)			45	42	87	19.2	67.8	3位
北川	文	三	(E)			49	55	104	31.2	72.8	
北川	文	三	(E)			49	43	92	14.4	77.6	
北川	文	三	(E)			53	56	109	28.8	80.2	
北川	文	三	(E)			58	44	112	33.6	78.4	

科別成績表(C.B.上位3名+職員1名の合計による)

1位	D	364	3位	M	361
2位	E	365	5位	C	366
3位	S	391	6位	A	409

爽秋のフェアウエー

白球躍る!!

OB、職員懇親ゴルフコンペ

テラン、ヤングマン、腕に  
自慢の方々が旧友、旧師と  
肩を並べて緑のフェアウエ  
ーに一組・二組……とスタ  
ートしました。  
成績は別表の通りです。  
ブレイ後の成績発表・懇  
親会には和気あいあいの内に  
すすめられ「来年も是非や  
らう」の声も出、再会を約  
して暮れ行く大和路をあと  
にしました。(北川記)

◎ 昨年に続き今秋も有志  
のみなさんによるコンペを  
実施したいと存じます。詳  
細につきましては改めてご  
案内する予定ですが、ご意  
見、ご要望などございましたらC科山中先生までご一  
報下さい。



会員だより

母校に寄せられた会員の方々の近況をお知らせいたします。会費納入、住所変更などの機会にどしどしお便りをお送り下さい。

勤めて居ります。

S 17 武藤 貴志

S 4 飯田 年春  
会報有難う御座いました。事務局の皆様のご努力を感じております。  
S 12 林 利一  
定年後の再就職で未だ元気に働いています。

S 12 多胡 正治  
関東地方へ出て来て23年余、長らく御無沙汰申し訳ありません。今後宜しく御願します。

S 12 山田多市郎  
こけの生えた古い人間ですが、泉工健児の誇りは有難く持ち続けています。

S 13 林 武雄  
40年振りで白水会報を拝見させて頂き、なつかしさが一杯です。今後の御発展をお祈り致します。

S 16 光安 茂  
現在地にて30数年、元気にやっています。  
福岡市東区箱崎2-37-8

S 16 小林 直樹  
卒業後36年間勤めた福岡を3月に希望退職し4月よりKKイムラサンプルに

売も順調に伸びて来て、夫婦共々楽しい日々です。学校とはまったく異なる職種ですが、学校で学んだ事柄を生かしてがんばっています。

S 45 岸本 康子  
(旧姓久武)

S 17 武藤 貴志  
終戦後、帰国とうとう九州の人となりました。福岡県庁勤務30余年を経て、とうやら土木屋の一員として毎日を送って居ります。

S 31 三國 広  
大阪チタニウム製造勤務。S 31、S 卒の皆さんお元気ですか。私健康そのもの頑張っております。一度同窓会開こうではありませんか?

S 44 宮崎 政義  
初めて便り致します。同窓生の皆さんお元気ですか。繊維科気質(貫実剛健)今日変えず!

S 44 山崎 峰子  
(旧姓太田)  
中村先生の転勤を知り、まつの寂しさを、それでいて新地での先生の活躍を祈る気持です。ところで私、結婚して6年目に入りやっ

S 44 山崎 峰子  
(旧姓太田)  
と子供に恵まれ、一人の母としてのよろこびを日に日に感じ歩んでおります。商

S 44 山崎 峰子  
(旧姓太田)  
売も順調に伸びて来て、夫婦共々楽しい日々です。学校とはまったく異なる職種ですが、学校で学んだ事柄を生かしてがんばっています。

の外、フラインケミカルの販売担当。  
D 16 (12月) 栗原源太郎  
(柳三笠染工場)  
先輩の前で経験談を話す。年代の差に驚き、先ずアガってしまつた。充分に理解して貰うことが出来ず、心残りもした。やはり年の所いかと思うが、年だから仕方ない。

D 3 永富 雞三  
(繊維小売新聞社)  
至極健康で、第一線で働いています。

D 10 山川 繁夫  
(協会知多検査所)  
繊維産業は誠にもつつかしい現況ですが、とくに最後まで頑張つて、泉工出のプライドを保ちます。

D 13 笠間 理一  
学校へは少しも顔出しせず申訳けなく、同窓の方に面はゆいにかぎりです。染の関係からはなれ、今しがたない商売にはげんでいます。色々また勉強させて戴きたいと存じます。

D 14 宮内 彰  
(長瀬産業株)  
染料の輸出入並に国内販売に従事、大手紡績並に染色加工工場に世話になっております。現在、常務取締役

D 41 谷口 幸一  
5年前より、三田青写真機に勤務。設計一課で図鉄の仕事をしております。今は一児の父です。

D 42 田代 文代  
(敷島紡績株)  
試験室で元気に勤務して居ります。試験室の主になりそうです。

記録

懐かしき名、泉尾、滾々として湧き出づる泉、過ぎし半世紀の歴史を今、古養より数葉の写真と共に振り返ってみる。それぞれに憶いが遺っている。古きよき時代の大正橋、三軒家の町並みの面影を思い浮べ乍らわれらが学び舎、母校の昔を思い出す、さすがとしたい。

今は亡き温谷と慈願の野田校長、軍練の今村教官の容姿、或いは応化の古き建物よ、思い起せば半世紀以上を聞いている事を。お懐かしき昔よ時よ。先輩、同輩、後輩の思い出に止まれば幸いです。

左←空から見た母校全景

野外演習場にて(信太山) →右



(A大15 北之間修改め)

D 42 松宮 政幸

(聖教新聞社)

エンジンなる泉尾の空に……

耳をつんざくような怒号と歓声が聞こえてくる。秋

の日、青春のあらん限りの情熱をぶつけた体育祭のあの光景である。そのグラ

ウンドもいまはもうない。そこには新しい校舎が

建ち10余年の歳月の隔りを感ずる。バレーコートでス

ポーツに興じる生徒達の姿を、かつての自分に置きか

えてみるが、やはりしっくりいかない。

もう一度、額に汗したあの懐かしい青春の日々に返ることができたら……。久し

ぶりに訪れた母校は、ふとそんな郷愁にも似た思いを抱かせてくれる。

やはり母校とは、いつになっても懐かしいものである。

C 3 磯 常和

現役引退以来満二年余、スッカリ生活パターンも定

着し、先づ健康に且何彼と雑用多忙で古稀に近づきつ

つあり。

C 3 大島英次郎

元気で暮して居ります。年長者クラブや将棋会にも出席して居ります。

C 3 隅田

元気で趣味の園芸を楽しみ時折り旅行に出かけています。卒業後五十年、旧友にもお会いしたい。

C 3 山畑阿利一

日展参与として彫刻の制作に励んで居ります。

C 6 清水 剛

追手門学院大学では教授になって六年になります。社会体育関係では次の役職

です。日本バレーボール協会監事、大阪府バレーボール協会副会長、近畿家庭婦

人バレーボール連盟会長、関西女子大学バレーボール連盟副会長。

C 6 玉川 英夫

絵の同好者達と近郊へ「スケッチ」に行っており

ます。勿論「ヒマ」つぶしですが、趣味の友達は生活

にうるおいをもたらします。

C 7 古武 隆

定年退職後、合併して備前市となり始めての市議会

議員に当選し、市民に奉仕の生活を致しております。

C 7 藤村 嘉夫

昨年三月三十一日付で財団法人大阪市公園協会の常務理事兼事務局長を辞任、

その後、六月一日より大阪府から大阪府住吉公園体育館長を委嘱され、現在同館

C 3 隅田

の管理運営に当たっています。スポーツ、文化的集會にせいでご利用下さい。なお日本高野連の顧問と評議員を委嘱されています。

C 7 遠藤仁太郎

年老いたり云々ともいまだ元気で研究技術開発に努力して居ります。

C 25 池田富士夫

現在の仕事は光ファイバーガラス中の波長オーダーの分析を手がけており、何とかできる可能性を見出しました。趣味では三年度の全日本選球選手権の壮年の部シングルスで決勝戦で惜敗し、準優勝しました。

C 25 長尾 石廣

四十代も半ばを過ぎ一層健康に注意しているが、食欲と運動量とがバランスせず、このコントロールに苦

C 32 森田 裕二

大阪市職業教育センターで中学校養護学級の生徒に陶芸を指導しています。又公募展に作品を発表していますのでご覧下さい。

C 38 尾崎 宣之

母校のニュースを新聞で見ました。実にうれしい事でした。

C 38 尾崎 宣之

スポーツを通じて人間性を磨くとは、いかに苦勞がありましようか、私の時代

▼村上三島氏(A6)

日中の書道交流に活躍

去る5月10日より一週間、松坂屋にて、上海・大阪両都市の友好都市提携五周年を記念した「上海・大阪書道交流展覧会」が開催

されました。

工業化学科6年卒業の村上三島氏は、主催団体の日本書芸院理事長として、この展覧会の開催に多大の努力をばらわられました。

この大阪展に先立って4月には、上海美術館で展示され、連日多くの入場者でにぎわい、大きな反響をよんだとのことです。

この際にも、村上三島氏は、日本書芸院の訪中団の団長として、同展に参加、日中兩國書家の話し合いを行なってきました。

大阪展には、中国側から書52点、篆刻13点、日本側からは、漢字は村上氏のもの

を含め34点、かな26点、篆刻4点、調和体1点、総計130点の作品が出品されました。

球部の先生によるしく。

の先生は岡野先生でした。私は剣道部に入っており

ました。その後JRCに転部致しました。母校の夢は

いつもいただいています。

紙面充実のために随筆、紀行文、研究の紹介、集

合の模様等なんでも結構です。からどしどし投稿して下さい。写真があれば一層楽しいものになります。

◎会報に寄稿のお願い

訃報

元学校長 中野順次郎先生ご逝去

四代目校長中野順次郎先生には、去る五月十七日、肺炎による心不全のためご逝去されました。

先生は昭和三十三年四月、大阪市教育委員会産業教育係長から本校四代目校長にご就任、戦災や水害の

傷痕の生々しい教育環境の中で優れた専門技術を十二分に発揮されて、体育館、プール等の増設に努力され

昭和三十八年三月で退職されました。

謹んで先生のご冥福をお祈り致します。

長野哲郎氏ご逝去(S2)

二代目会長として、その包容力の広さで本会の発展に寄与された長野哲郎氏は、本年四月一日ご逝去されました。急なことで、事務局も春の休暇中のことでもあり、連絡業務の不備で

ご迷惑をおかけしましたことをおわび申し上げます。

長野氏は業界でも大島織維工業株式会社の取締役として多大の功績を遺されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

昭和53年度

会費・寄付納入一覽

●纖維工業科

- 一〇、〇〇〇円
- 5 若林豊一 27 高江兵三
- 六、〇〇〇円
- 29 谷 利行
- 五、〇〇〇円
- 32 石原弘雄 33 土志田 勲
- 四、〇〇〇円
- 10 三浦良貴
- 三、〇〇〇円
- 4 布谷伊光 8 藤條正夫
- 35 田中雄一郎 44 山崎峰子
- 二、〇〇〇円
- 7 佐野正三 13 林 武雄
- 16 光安 茂 18 宮地政俊
- 20 中井恒郎 27 奥田和之
- 32 山田雄市 37 浜田謙次郎
- 44 宮崎政義
- 一、〇〇〇円
- 4 飯田年春 4 森 庄次郎
- 7 岡本亀吉 7 神田 茂
- 9 邊藤喜三郎 9 船曳大造
- 9 桃谷太喜二 9 松本吉堯
- 9 和田太郎 10 谷 馨
- 11 原官増森 12 奥田久雄
- 12 林 利一 12 多胡正治
- 12 野田成男 12 山田多市郎
- 12 山村英夫 13 加納秀男
- 13 川口喜三 13 藤田明雄
- 14 庄司 弘 15 荒井政敏
- 15 大石 博 15 喜多俊雄
- 15 高橋誠一郎 15 前川良夫
- 16 青木一己 16 五十崎彰
- 16 沖 奨 16 桂川錦一郎

- 16 小林直樹 16 佐竹惟信
- 17 沖 由文 17 武藤貴志
- 17 毛利 忍 18 上田茂実
- 18 藤川一市 20 黒田芳昭
- 22 本条 晃 23 川勝通男
- 27 小山博敏 28 小西一正
- 28 日笠一清 30 西村圭一
- 30 御合輝彦 31 河岸 勝
- 31 三國 広 31 河岸 勝
- 31 三國 広 31 河岸 勝
- 33 上瀬和男 33 原 邦生
- 33 吉岡敬郎 34 品川正洋
- 34 松下英雄 35 大坪義明
- 36 木村捷利 37 桑山正勝
- 37 柳木健治 38 泉 信也
- 38 堺 雄二 83 田中豊三
- 39 増田甚七 40 池田末男
- 40 磯貝鎮夫 40 美馬駿二
- 40 磨田昭男 41 中谷秀雄
- 41 中谷繁治 41 森島茂利
- 42 大石繁男 42 木内利雄
- 42 平鍋光寛 42 加茂深雪
- 43 北口幸治 43 齊藤 実
- 43 立床幸三郎 43 寺川昭雄
- 43 萩原 博 43 平田一男
- 43 川森愛子 45 田口健二朗
- 45 岸本康子 45 山下 明

- 色染工業科
- 五〇、〇〇〇円
- 13 鎌田 修一
- 一一、〇〇〇円
- 16 本多 実
- 一〇、〇〇〇円
- 13 笠間理一
- 五、〇〇〇円
- 16 栗原廉郎
- 三、〇〇〇円
- 12 田中義人 12 中川市造
- 31 平岡利隆 35 金澤文行
- 38 谷口寿志 41 広尾正樹
- 二、〇〇〇円
- 7 佐藤 明 7 福本長五郎
- 11 西明得治 13 本多 薫
- 14 宮内 彰 17 吉浦 稔
- 18 野田隆造 21 嶋 豊
- 35 姥谷嶺嗣 35 正田 一
- 一、〇〇〇円
- 2 小川次助 2 白石 巖
- 3 石村芳郎 3 永富雄三
- 5 石田帝介 5 杉本俊夫
- 7 柴田淳志 7 松田利三
- 7 安田 穰 8 岩倉晴美
- 9 安田育雄 10 西出宗生
- 10 松本茂夫 10 山川繁夫
- 11 森 信也 12 松田家勇
- 13 上武鹿三 13 亀井幸一
- 13 中務昌治 13 濱口幸八
- 13 平松秀一 14 勝見 豊
- 15 西田 肇 16 奥村耕造
- 16 中川奈良一 16 日笠富夫
- 16 福嶋節生 16 神 芳郎
- 16 柴谷吉宣 16 高島清輝
- 16 水川嘉海 17 鳥瀬 修
- 18 長友省吾 18 浜口隆昭
- 20 川端幾雄 20 河野照男
- 20 柴田和男 20 中村友三郎
- 20 濱本浪雄 27 京極博光
- 28 村田忠夫 29 田中靖二
- 30 福森文夫 32 小松榮治
- 32 小松原肇 32 隈元博久
- 33 出村介嗣 33 気谷清治
- 33 小林永典 33 高橋義紀

- 窯業科
- 一〇、〇〇〇円
- 12 山下俊彦
- 五、〇〇〇円
- 4 笠井昇治 8 布谷 功
- 17 田中 健
- 二、〇〇〇円
- 12 勝屋一志男 12 辻 芳次
- 18 伊勢清秀 26 上中律三郎
- 33 石河雅祥 37 益田 治
- 40 買手良一 46 堺 恒雄
- 一、〇〇〇円
- 3 木谷亀雄 3 磯 常和
- 4 長野蘭蔵 4 徳本 操
- 5 深田志郎 6 松田一之
- 6 玉川英夫 7 伊奈岡芳次
- 7 藤村嘉夫 7 土井一人
- 8 篠原静雄 8 小林豊太郎
- 10 谷本市三郎 10 玉井弥一
- 10 川上末夫 10 林 友吉
- 10 安部 毅 12 亀井秀美
- 12 横井善一 12 井本 実
- 13 大石皓造 13 南野長三郎
- 34 永岡正憲 35 大路昌宏
- 35 中川和城 37 黒田吉信
- 38 辻本敏弘 38 二宮昭男
- 39 金沢隆宣 39 安原博行
- 40 村井士郎 40 渡辺 一
- 41 菊田和彦 41 谷口幸一
- 41 辻本弘二 41 西本栄蔵
- 41 増成(西原)成子
- 42 川本(武田)映子
- 42 田代文代 42 松尾義博
- 43 竹内千春 45 貴田広志
- 45 田中(小川)真澄
- 45 田中(加藤)順子
- 49 津代久子 49 沖元英一

染料・顔料・工業薬品

平岡染料店

大阪市天王寺区国分町94

電話 大阪 {771-7426 / 779-5090}

平岡利隆(D31卒)

お住いの御相談は是非  
市岡建設(株)へ

住宅専門会社 (但し建売は一切行っておりません)

大阪市大正区小林西1丁目8番21号  
(串田病院西裏通り)

市岡建設株式会社

TEL (06) 554-1621~5

代表取締役 角岡 貞治 (M33卒)

- 14 上田猛雄 14 飯野 巖
- 15 後藤三雄 15 龍門 寛
- 15 岡田 浩 16 家村 巖
- 16 老田 弘 16 藤元京次
- 16 長谷川恒治 16 前川善昭
- 16 岩田義治 16 大嶋安司
- 16 浜口隆信 16 北村 一郎
- 17 安田 圭 17 治良政幸
- 17 古武正幸 17 福原初男
- 17 高下喜久藏 18 大前 博
- 18 大谷正男 20 布垣 博
- 20 千葉寿一郎 20 楠田博之
- 20 高下健吉 20 桑山信昭
- 20 木村重次郎 22 中村忠一
- 25 阪本繁男 25 植苗日出穂
- 25 松江良治 30 綿貫好高
- 31 青山有一 32 森田裕司
- 32 中尾公一 33 木内政雄
- 33 宮原信一 33 片岡幸一
- 34 井上義次 34 押江良広
- 34 妹尾 修 35 佐賀木康邦
- 35 今井 寿 35 竹内英昌
- 36 原 学 37 松尾忠勝
- 38 北邑昭夫 38 中村公男
- 39 山内正彦 39 藤本喜久男
- 40 木地清司 40 西村良朗
- 40 堺 邦雄 41 宮地 博
- 41 佐賀木敏治 41 岡田千春
- 42 松本保二 45 橋本雅信
- 47 西河 勇
- 工業化学科
- 一〇、〇〇〇円
- 15 熊西清信
- 五、〇〇〇円
- 4 佐々木義人 37 古本拓理
- 三、〇〇〇円
- 16 合田富美雄 30 中井忠誠
- 32 中崎信孝
- 一〇、〇〇〇円
- 化学機械科
- 一、〇〇〇円
- 37 岡 文彦
- 一〇、〇〇〇円
- 32 中崎信孝
- 32 辻 欣男
- 二、〇〇〇円
- 16 北村 定 33 新家重雄
- 36 一階栄一 37 吉田忠康
- 41 平田和敏
- 一、〇〇〇円
- 大15 北原吉男 3 板野徳祐
- 4 上田弥太郎 4 矢田武雄
- 4 山中不二夫 5 宮崎邦三郎
- 7 山下辰雄 7 山辺信一郎
- 7 清水敏三郎 8 川崎太郎
- 8 神林鉄五郎 9 沢田義人
- 9 南 彰 10 家次房夫
- 11 井川英三 11 瀬川栄一郎
- 12 伴藤俊吾 12 長谷川秀夫
- 13 近藤純平 16 松下幹夫
- 17 永田三郎 18 大道邦雄
- 20 宇佐美昭司 20 大島龍一
- 28 丹羽富造 28 三田資和
- 29 五田敏也 29 小谷川毅
- 30 西原隆司 31 森脇 勲
- 32 奥田義和 34 長森紀行
- 34 曾和 一郎 34 大西弘一
- 34 浜田義則 35 一宮哲夫
- 35 高浜俊資 36 大隅一民
- 36 名小路昌輝 37 畠山 孝
- 37 古本拓雄 38 大谷八峯
- 40 池田隆司 40 貴志昌高
- 40 南 義昭 40 浜崎 博
- 40 前田三天 40 山本俊司
- 42 桃谷達夫 43 池田昭三
- 52 井上隆夫
- 六、〇〇〇円
- 41 奥平俊行
- 五、〇〇〇円
- 18 北山良治 33 角岡貞治
- 37 前川金四郎 43 今川 等
- 41 古田廣司
- 二、〇〇〇円
- 25 諸山 登 30 勝 啓次
- 32 上田莞爾 37 大川伸一
- 38 松本義範 40 志磨村和雄
- 42 伊藤一比古
- 一、〇〇〇円
- 18 黒沼一之 18 鮫島一馬
- 18 竹広幸生 18 田部善保
- 18 西井正博 20 鈴木桂太郎
- 20 藤本秀郎 20 青木昭二
- 20 白井英一 20 山崎常和
- 21 松家信人 25 西川義人
- 26 岡部浩也 26 溝渕初男
- 27 国川明輝 28 西口卓治
- 29 馬屋原二郎 31 平井利一
- 32 野口隆士 32 平井 勲
- 32 藤原之太郎 32 矢野勝正
- 33 池田正美 33 塚原輝雄
- 34 井上信雄 34 藤山 宏
- 35 岡本 勲 35 境 義昭
- 35 玉崎継一 35 村木高史
- 35 焼野耕治 35 矢田 寛
- 36 栗本義弘 36 小西昭治
- 36 猿田一男 36 野路末好
- 36 森 象三 37 石川博信
- 37 井上重雄 37 岡 功
- 37 玉置 昇 37 中須繁行
- 37 沼田清夫 37 浜崎茂雄
- 37 浜室直司 38 高橋恒晴
- 39 磯田 優 39 落合正明
- 39 増井 功 40 佐藤茂夫
- 40 中本 正 40 松山誠一
- 41 北潟敏雄 41 富田清吉
- 42 井上裕信 42 上出利一
- 42 木下秀男 42 田里吉男
- 42 廣岡幸吉 43 加藤由夫
- 43 和田隆喜 44 勝浦政男
- 44 柳川俊和 45 橋本義三
- 48 森田敏夫 48 柳川賢次
- 49 矢野 盟
- 二、〇〇〇円
- 電気科
- 41 姫野只二 41 福永哲哉
- 42 勇崎 務 44 田村一雄
- 44 光岡三郎
- 一、五〇〇円
- 52 古座鈴三
- 一、〇〇〇円
- 41 河端 保 41 田中啓次
- 41 中原英雄 42 嶋津健二
- 42 関 健一 42 松浦守久
- 43 青木区次 44 口野正夫
- 46 谷川 昇 47 久保田雄二
- 48 小島克則 51 平田光男
- 52 山本秀樹
- (54年4月1日以降の会費納入分については来年度の会報に掲載します)
- 53年度広告によるご協力
- 東京支部
- 佐々木印刷株
- 平岡染料店
- 大平堂時計店
- 染色試材株谷頭商店
- D 31
- D 31
- S 30
- D 31
- A 4
- 大勝水産株
- 精器堂神戸支店株
- イサム塗料株
- S 38
- C 24
- A 17

営業種目

水処理機械設計製作据付一式  
起重機・コンベヤ  
熔接鋼管・鉄骨工事  
製缶熔接一式

間機設工業株式会社

間 文 彦 (M37卒)

〒555 大阪市西淀川区御幣島5丁目11-22  
電話 大阪 (471) 5767・5768

カタログ・印刷全般  
文具・事務用品・印鑑

日南印刷株式会社

森本 正彦 (D52卒)

〒556 大阪市浪速区立葉町4-12  
TEL (06) 562-3894

やまがそば C 33  
 二見秀染工棟 D 38  
 三國産機棟 C 17  
 間機設工業棟 M 37



### ◆事務局からのお願ひ

#### ◆ヤング会員の積極的なご協力を

会員の皆様には、お元気で活躍のことに存じます。

昭和57年に60周年の年輪が刻まれる大阪白水会は、先輩達のたゆまぬ熱意と会員の協力により順調な運営をたどっています。早くから長老の会員の方々から、若い会員の力で、若い者がどんどん活躍する場に発展させるようにと書かれて現在に至っておりますが、

50周年記念行事を成功裡に遂行していただいた飯田元会長(S4)が離任にあたって、「幸い今度気鋭の新会長を迎えることができ、誠に時宜を得たと喜んで、運営面に困難はあるが、白水会員の英智とヤング会員の台頭を期待し、母校の発展と大阪白水会の隆盛を祈る」と挨拶、ヤング会長西井氏(M18)も、「私も母校を卒業して三十

有余年、齢五十の坂にあつて人生の生甲斐が何であるかを求めているとき、心あため初心に返り、かつて母校の庭にあつて教えを乞うた頃に立ちもどり、私共を育ててくれた母校へのおかえしを少しでもさせて頂ければと願うものである」と心境を述べられ、卒先して年会費制度の確立に取り組まれ、会員の絶大な協力で順調な会運営への足がかりをつくられました。

一年だけでもとお願いした現在の鎌田会長(D13)も学校からの強い要請で教育後援会長としてご協力をいただきながら、本会発展のため並々な熱意を示され、三年目の本年も留任をお引き受けただいて、着々と成果をあげていただいている。6月1日に開催された東京支部総会でも、60周年が終るまで会長が正

の声があがり、事務局も心強く感じました。どうか会員の方々、長老が一年一年小さな年輪を拮げていただいた労に報いるためにも、切っても切れない同窓のきずなをお互い大切に、一年一年輪を拮げようではありませんか。ヤング会員の積極的な協力をお願いいたします。

常任理事長 辻村 弘(S16)

◆年会費ご納入について  
 昭和44年3月卒業以前の会員の方々、一、〇〇〇円を同封振込用紙でご納入をお願いいたします。すでに54年度分の納入をいただきました会員の紙面報告は、会報ページ数の関係で55年度会報に掲載いたしますのでご了承下さい。

◆終身会費制度の確立について  
 年会費制度が確立されてから、毎年納入は面倒だから終身会費制度もつくってほしいご提案をいただいておりますが結論がでないままになっております。常任理事会でさらに検討し、ご要望に答えるよう努力いたします。

◆原稿、広告のお願い  
 54年度分の投稿、広告ありがとうございました。広告が少なく、今後努力を重ねますが何卒ご協力下さるようお願い申し上げます。

55年度分の受付は54年7月から55年5月末となっております。

締切り日に間に合わず掲載できなかつた原稿、広告につきましてはお詫び申し上げます。

◆住所・地名変更のご連絡  
 は学校内、大阪白水会事務局へ

### 白水の流れを 絶やさざるべけんや

つつがなきや、同窓諸賢！  
 げに一年の早きこと、無情迅速です。お蔭に本校も母校とともに年を重ね、一方の会員は指呼の間です。母校「六十周年」も近く、動きもようやく急です。

かねて納入を懇願しております「年会費」作戦も「征戦三年人馬老ゆ」ではありませんが、曙光を見いだしながらあすを思いわずらい、理事會その他で甲論乙駁しているのが実情です。会の発展、運営、会員相互の親睦等を考えますとき、会報の要不要、年会費の「諾不諾」を尋ね、応答の有無を確認して善処する、という「大多数の他校(会)にて実践の」一案も拙上にのぼりました。

諸般の情勢から経費節約は当面の急務でもあり、事情をご察察の上、何卒年会費の納入にご協力ください伏して切願致します。

はるかに会員諸賢のご健闘、ご活躍を祈り……

大阪白水会長 鎌田 修 (一〇一)

### 真珠は生まれながらにして 愛を知っている宝石です。

一生を通じて飽きがこない  
 本ものだけが持つ輝き  
 タサキのコレクションから  
 どうぞ



神戸・福岡・大阪・名古屋・東京  
 ・札幌・香港・ニューヨーク